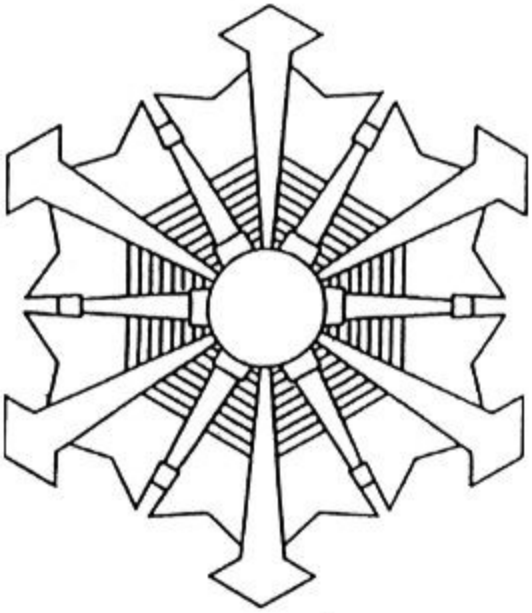
平成22年版（平成21年度）

消　防　年　報



「消したかな」あなたを守る合い言葉
【平成22年度　統一防火標語】

事故は瞬間　無事故は習慣
【平成22年度　危険物安全週間推進標語】

茅ヶ崎市消防本部

「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」

茅ヶ崎市は１９６２年１２月１９日世界人類共通の願いである真の恒久平和を希求し、その実現に努めるため平和都市宣言を行った。

しかるに地球上では今なお核兵器の増強はとどまることなく、全人類の生存に深刻な脅威をあたえている。

よって、再び全市民の名において次の宣言をする。

日本国憲法の精神に基づき国是である非核三原則を遵守する国とともに、地球上のすべての自然を破壊し、全人類を滅亡させるにたるあらゆる国の核兵器の使用を全面禁止する。国際世論を喚起するため、茅ヶ崎市はここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

１９８５年１２月２４日　茅ヶ崎市

市の木・アカシア
（昭和47年10月1日制定）

市の花・つつじ
（昭和47年10月1日制定）

市の鳥・シジュウカラ
（平成9年10月1日制定）

表紙の は茅ヶ崎市章です。

「チガサキ」の「チ」を図案化した円形は、
市の融和と団結をあらわし、翼状平行線
は市勢の飛躍、発展を象徴しています。

市　民　憲　章

美しい海
　きれいな空気
　　おだやかな四季

　私たちは、このめぐまれた自然に感謝しながら、未来へ力強くはばたくための愛市憲章をここにさだめます。

１．美しい自然は、私たちみんなの誇りです。
１．私たちは、元気で仲良く、きょうも働きます。
１．私たちは、きまりを守り、安全で住みよいまちづくりにはげみます。
１．私たちは、文化の花咲く、明るい平和なまちをきづきます。
１．老いも若きも手をとりあって、輝かしい明日へむかって前進しましょう。

（昭和42年10月1日制定）

浜　降　祭

（平成２２年７月１９日：海の日）

目　　次

目で見る消防統計 …… 7
消防のあゆみ …… 8
歴代消防長 …… 16
叙位・叙勲者 …… 17
消防の機構 …… 20
市の概要 …… 21
消防分布図 …… 22

総　務

消防費
予算 …… 25
市総予算との比較 …… 25
市決算との比較 …… 25
人口との比較(予算) …… 25
消防力の現有
消防職員の定員・実員 …… 26
消防職員の割合 …… 26
署所 …… 26
消防車両（常備） …… 26
消防職員
階級別年齢別消防職員構成表 …… 27
階級別勤続年数別消防職員構成表 …… 28
消防職員年度別公務災害発生状況 …… 28
研修等派遣状況 …… 29
消防庁舎概要 …… 30
消防職員の年度別条例定数及び実員 …… 32

予　防

立入検査実施状況 …… 35
防火管理者選任状況 …… 36
届　出
届出状況 …… 36
届出状況（予防課・指導課） …… 37
訓練用品貸出状況 …… 37
貸出用品 …… 38
平成21年度防火ポスター・作文コンクール …… 39
建　築
特殊建築物確認申請月別 …… 42
特殊建築物確認申請用途別 …… 42
一般建築物確認申請月別 …… 43
中高層・地下建築物用途別（棟） …… 43
危険物

倍数別危険物施設 44
類別危険物施設 44
危険物申請手数料収入状況 45
警　防
開発事業
開発協議に関する事項 49
水　利
消防水利設置数（公設・私設） 50
公設消火栓現有数 51
公設防火水槽現有数 51
車両配置別内訳 52
車両別内訳（常備） 52
通　信 53
主な消防用資機材一覧 54
防災対策
広域避難場所・避難所位置図
避難所 57
災害用耐震性プール・飲料水兼用貯水槽 58
防災無線 58
防災備蓄倉庫 58
研修・訓練
年度訓練種別 59
曜日別実施状況 59
地震対策
地震対策用街頭消火器設置状況 59
自主防災組織
各連合会地域内自主防災組織 60
年間降水量
降水量、５０㎜以上の降水量を記録した日 61
消防団
消防団のあゆみ 65
歴代消防団長 68
消防団員叙位・叙勲者 68
消防団の概要
団員数とポンプ・車両数 70
車両別内訳（非常備） 71
分団器具置場所在地 72
災害出動 73
勤続年数 73
報酬額 74
費用弁償額 74

研修・訓練 74
退団者 74
年齢 75
職業 75
団の定数・実員 76
防災資器材 77
火災・救急救助統計
火災統計
用語の意義 81
火災件数 83
火災損害額 83
出火原因別件数 83
死傷者数 83
管区別火災発生状況 84
火災件数月別内訳 85
初期消火器具使用状況 85
火災統計概要（過去１０年間） 86
１１９番通報受付記録 87
救急救助統計
救急活動 91
用語の意義 91
過去５年間の救急出動状況 91
事故種別・年齢別搬送人員 92
傷病程度別・事故種別搬送人員 92
事故種別・発生場所別搬送人員 92
月別出動状況 93
曜日別救急出動件数 93
救急隊員の行った応急処置件数 93
市内・市外病（医）院搬送状況（人員） 93
事故種別不搬送理由 94
救急支援出動状況 94
救助出動 94
水難事故出動状況（過去５年間） 94
救命講習会
普通救命講習会実施状況 95
上級救命講習会・応急手当普及員養成講習会実施状況 95
ＡＥＤ（自動体外式除細動器） 95
ＡＥＤ設置施設一覧 96
茅ヶ崎市応急手当普及協会 97

目で見る消防統計

平成２２年度

予算（消防）
22億 7,402万 4,000円
市民一人あたり
9,700円

平成22年4月1日

	消防本部	消防署	出張所
施設	1本部	1署	5出張所

平成22年4月1日

	職員	うち女性職員
職員	237人	4人
市民 989人 に1人		
	分団	団員
団員	22分団	417人
市民 562人 に1人		

平成22年4月1日

	消火栓	防火水槽
水利	2311基	215基

車　両

平成22年4月1日

ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車	救急車
8台	2台	2台	1台	6台
指揮車	広報車			
1台	4台			

＊非常用車両は含んでおりません。

平成２１年中

火災件数			救急件数			救助件数		
58件			8,793件			68件		
6.2日 に1件			1日に約 24件			5.3日 に1件		
第1位	放火（疑い含む）	18件	第1位	急病	5,521件	第1位	建物等による事故	27件
第2位	こんろ	6件	第2位	一般負傷	1,231件	第2位	交通事故	17件
第3位	可燃性ガス	4件	第3位	交通事故	950件	第3位	水難事故	10件

＊出火原因の可燃性ガスは、スプレー缶等の廃棄によるパッカー車の火災

平成22年4月1日

	防火対象物	危険物施設
予防	5,364棟（むね）	249施設

平成２１年度

	防災訓練	のべ参加人員	街頭消火器	自主防災組織
防災	30回	6,476人	2,677本	131組織

消防のあゆみ

Ｓ２２．１０．　１　単独で市制を施行 （人口４３，３１５人、戸数９，０５５戸）
２３．　２．２４　自治体消防発足の準備態勢にはいる。 県下各消防署から消防官７人が配属、消防車（日産２６馬力昭和１６年式）を県から移管
３．　７　自治体消防として発足（消防組織法の公布施行により警察機構から分離、茅ヶ崎市消防本部並びに消防署を設置する）
３．　７　小川信治氏　初代消防長に就任
３．１０　仮消防庁舎を旧市役所一隅に設置し、警備にはいる。（職員１０人採用計１７人）
１１．２８　消防庁舎を旧茅ヶ崎警察庁舎（茅ヶ崎３，２１７番地）に移転
２４．　５．　３　消防車（フォードオート三輪２４馬力昭和６年式）を配置
２６．　１．　１　２課制　庶務課（庶務・経理・教養・機関・消防団係）、予防課（建築・予防係）
２．１２　消防車（日産２６馬力昭和２５年式）を配置
１０．　救急業務を暫定的に開始－救急車（オータ号２５馬力昭和１４年式）を配置
２７．　１．１　２課制　庶務課（庶務・経理・教養・機関係）、消防課（消防・建築・予防係）
－　－　小型動力ポンプ１台を配置し、消防車に親子ポンプとして積載
２８．　－　－　緊急自動車（シボレー８５馬力昭和２７年式）を配置
２９．　６．－　消防車（日産ジープ９５馬力）を配置
１２．１８　南湖出張所を開設
３０．　４．　５　小出村の市編入により３分団（堤、行谷・下寺尾、芹沢)加入し、３２分団　定数・実員　８３９人
３１．　９．１９　茅ヶ崎市石油防火協会の発足
３２．　１．　１　２係制　庶務係（庶務・経理・教養・整備）、消防係（消防・建築・予防）
３３．１１．　１　水槽付消防車（いすゞ１３０馬力）を配置
３４．　９．２５　大津武男氏　消防長職務代理に就任
１２．２８　堀越　誠氏　２代消防長に就任（助役を兼ねる）
３５．　－　－　緊急自動車（シボレー８５馬力昭和２８年式）を配置
１２．２６　消防専用短波無線基地局を開局
３６．　４．２８　消防車（いすゞ５，７００ｃｃ）を配置 （日本損害保険協会から寄贈）
５．２８　大津武男氏　消防長職務代理に就任
３７．　６．２０　救急業務を正式に開始　救急車（トヨタ１，９００ｃｃ）を配置
３８．　１．　１　３係制　庶務係（庶務・経理・整備）、警防係（消防・予防第１・第２）、消防団係
７．１８　寒川町の救急業務を昭和４７年３月３１日（４２年１２月１日からは夜間のみ）まで代行する。

１２．２７　消防車（日産ＦＲ４，０００ｃｃ）を配置
４０．　４．　１　２課制　庶務課（庶務係・管理係）、警防課（消防係・予防係）
１０．２８　消防車（日産４，０００ｃｃ）を配置
１１．　１　消防専用短波無線を超短波無線に切り換える。
１２．２４　小和田出張所を開設
４１．１１．　１　朝倉房治氏　３代消防長に就任
１１．２１　水槽付消防車（いすゞ５，６５４ｃｃ、水２ｔ、薬剤０．２ｔ）を配置
１１．２８　救急車（トヨタ４，０００ｃｃ）を配置
４２．１０．１６　救助隊発足（隊長以下１１人）
１０．１６　大津武男氏　消防長職務代理に就任
４３．１１．１１　大津武男氏　４代消防長に就任
１１．１３　消防庁舎を矢畑（１，２８０番地の３）に移転
１２．２０　消防車（日産ＦＲ４，０００ｃｃ）を配置
４４．　６．１０　鈴木芳雄氏　署長に就任　※署長の専任制始まる。
９．　１　指令車（日産１，６００ｃｃ）を配置
１１．１０　救急車（トヨタ４，０００ｃｃ）を配置
４５．１１．　９　水槽付消防車（いすゞ５，６５４ｃｃ、水１．６ｔ）を配置 （日本損害保険協会から寄贈）
４６．　３．３１　救助工作車（日産２，０００ｃｃ）を配置
１２．２４　消防車（日産ＦＨ６０、４，０００ｃｃ）を配置
年 度 内　人口急増地域に指定される。
４７．　９．２０　救急車（トヨタ２，０００ｃｃ）を配置
４８．　５．　１　斎藤清二氏　５代消防長に就任
４９．　２．２６　消防車（いすゞＳＢＲ３２０、５，０００ｃｃ）を配置
５．　１　係制を担当制とし、予防課（指導・保安・査察担当）を新設
庶務課（庶務・管理・消防団担当）、警防課（警備・整備担当）
１１．　１　小林吉男氏　署長に就任
１１．　６　救急車（トヨタＲＨ１８Ｖ２、２，０００ｃｃ）を配置
１２．　４　はしご車（２４ｍ日野ＫＢ３２２、９，８３０ｃｃ）を配置
５０．　７．　３　連絡車（三菱ギャラン・バン１，６００ｃｃ）を配置
１０．　自宅研修制度の試行
１１．　５　消防車（日産ＦＨ６０、４，０００ｃｃ）を配置
５１．　２．　３　消防救急一斉指令装置を設置
２．２６　広報車（日産ブルーバード１，６００ｃｃ）を配置 （茅ヶ崎市石油防火協会から寄贈）
１０．　２　関野恒吉氏　署長に就任
１０．　２　予防課の担当を改める。（査察第１・第２・第３・予防担当）
５２．　２．　８　南湖出張所を改築
２．２６　救急車（日産Ｈ－ＧＫＰＥ２，０００ｃｃ）を配置 （グリーンライオンズクラブから寄贈）

５．１０　署査察車（スズキ軽ジープ３６０ｃｃ）を配置　（角田九十郎氏から寄贈）
６．　１　望楼勤務（定時）の廃止
１２．　１　テレフォンガイドを設置し、「防災スポット」を開始
１２．　２　指令車（トヨタコロナバン１，６００ｃｃ）を配置
５３．　１．１２　消防車（日産ＦＨ６０、４，０００ｃｃ）を配置
２．１８　救助工作車（日野ＫＬ５２１、６，２１０ｃｃ）を配置
年 度 内　非常電源（自家発電）装置を設置（本署）
４．１２　茅ヶ崎市危険物安全協会発会式（茅ヶ崎市石油防火協会を改組）
７．２４　総合自動気象観測装置・震度計を設置
１２．１３　水槽付消防車（いすゞＳＣＲ３２０、１．５ｔ・５，７８０ｃｃ）を配置
５４．　３．２７　救急車（トヨタＨＲＨ４２ＶＢ２，０００ｃｃ）を配置
年 度 内　地震対策用街頭消火器を３００本設置（８年計画－初年度）
７．　１　小林吉男氏　署長に就任
７．　１　担当制を係制にし、予防課に地震対策係、庶務課に企画係を新設　庶務課（庶務・企画係）、予防課（予防・危険物・地震対策係）、警防課（警防、整備係）
８．　７　地震対策強化地域に指定される。（大規模地震対策特別措置法の施行による）
１０．２１　茅ヶ崎古式消防保存会の発足
１１．２９　救急専用無線基地局を開局
５５．　２．　８　救急車（トヨタＪＲＨ４５ＶＢ、２，０００ｃｃ）を配置
２．１４　消防車（いすゞＴＬＤ４４、２，７７０ｃｃ）を配置
２．１８　防災連絡車（スバルサンバー軽四）を配置
２．２５　照明電源車（いすゞ）を配置
年 度 内　耐震性貯水槽（１００ｔ）を設置開始（１５年計画）
４．　１　救急隊１隊を増隊し本署２隊出動とする。
７．１７　４課制　防災課（計画・指導係）を新設　庶務・予防・警防課
９．２６　化学車（いすゞ、水１ｔ）を配置　（日本損害保険協会から寄贈）
１２．　５　ミニ消防車（スバル５４０ｃｃ）を配置
１２．１１　防災広報車（日産）を配置　（グリーンライオンズクラブから寄贈）
５６．　１．　７　茅ヶ崎古式消防保存会に「まとい」を寄贈
３．　１　消防本部庁舎兼防災備蓄倉庫を建設　署・仮眠室等の増改築
年 度 内　避難誘導標識（ポール）を設置開始
４．　１　関野恒吉氏　署長に就任
５．　１　警備第一課・二課制、指導課（管理・指導係）の新設　副署長制及び甲・乙部制の廃止
５．　１　第３小隊（遊動隊として）を発足
６．２９　市全域写真集成図を庁議室に設置　（稲岡氏から寄贈）

９．２４　軽可搬消防ポンプを堤婦人防火クラブに配置 （県消防協会から寄贈）
１２．１０　消防車（いすゞＫＬＴＤ４６、３，２６０ｃｃ）を配置
５７．　２．　１　緊急情報現示装置を設置
３．３０　防災行政用無線（遠隔制御器）を設置　子局３５箇所 ４月３０日使用開始
年 度 内　避難地案内板を設置開始 （〔財〕日本宝くじ協会から寄贈）
４．　１　避難地案内版１０箇所設置
８．１９　第１１回消防救助技術全国大会優秀表彰（はしご登はん、水上複合検索）
８．３０　図書「迫る東海地震（裸の都市）」（三橋卯之助氏から寄贈）
１０．　１　第３小隊増隊
１１．　１　小林吉男氏　署長に就任
５８．　２．１０　救急車（日産キャラバン）を配置 （日本損害保険協会から寄贈）
２．２５　はしご車（３５ｍ三菱）を配置
４．　１　救急医療情報装置を設置
年 度 内　防災行政用無線子局６５箇所設置、計１００箇所
年 度 内　防災用備蓄コンテナを設置開始、２箇所
年 度 内　幼年消防団を発足、２４団体
５９．　４．　１　茅ヶ崎市少年婦人防火委員会を発足
４．　２　斎藤清二氏消防長　署長を兼務
８．　７　消防指令広報車（日産ブルーバード１，５９０ｃｃ）を配置 （日本消防協会から寄贈）
８．２４　第１３回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索）
１１．　１　小林吉男氏　６代消防長に就任
１１．　１　佐藤好男氏　署長に就任
１１．１３　防災パトロール車（日産トラック　２，２８０ｃｃ）を配置
年 度 内　防災行政用無線子局を海岸線に４箇所設置、計１０４箇所
年 度 内　防災用備蓄コンテナを１２箇所設置、計１４箇所
６０．　４．　１　森林法の改正により市内の一部を森林地区に指定する。（林野火災の取扱い変更）
９．１８　軽可搬消防ポンプを平和町婦人消防隊に配置 （日本消防協会から寄贈）
６１．　２．１０　救急車１台を更新し、配置
年 度 内　防災行政用無線子局を海岸線に２箇所設置、計１０６箇所
年 度 内　防災用備蓄コンテナを１２箇所に設置、計２６箇所
４．　１　消防署小出出張所を開設（消防ポンプ自動車１台、人員１４人配置）
６．１８　軽可搬消防ポンプを下赤羽根婦人消防隊に配置
９．　１　県防災行政用無線高速ファックス設置
１０．　１　小和田出張所救急隊運用開始（増隊）

１１．１２　視聴覚障害者災害通報用ファックス運用開始（８５）１１１２
６２．　３．１２　消防通信指令庁舎完成
年 度 内　防災用備蓄コンテナを２箇所設置、計２８箇所
８．１７　軽可搬消防ポンプを堤婦人消防隊に配置（日本消防協会から寄贈）
年 度 内　消防用備蓄コンテナを１箇所設置、計２９箇所
６３．　４．　１　消防緊急情報システム運用開始　これより室長制を導入する。
４．　１　清水弘和氏　７代消防長に就任
４．　１　岡崎　武氏　署長に就任
６．　３　防火広報車を消防本部に配置　（日本防火協会から寄贈）
８．１９　第１７回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索）
１０．　１　自治会に戸別受信機を設置する。
H元．　１．　１　消防署組織等規程の改正により中隊制を導入する。
１．　１　新給料制の導入に伴い、現６等級制を８級制に改める。
３．　６　昭和６３年度消防庁長官定例表彰竿頭綬授与
年 度 内　防災用備蓄コンテナを１箇所設置、計３０箇所
６．　４　第２、第４土曜日閉庁の施行
９．　１　県・市合同総合防災訓練（浜須賀中学校）
２．　２．３１　飲料水兼用貯水槽を中央公園に設置する。市総合体育館内防災倉庫整備
３．　－　小和田出張所の増築及び本署防水塗装工事
年 度 内　「危険物安全週間」始まる。
４．　１　消防長の階級を消防正監に、次長、署長を消防監に改める。城田満氏署長に就任
５．２５　水槽付消防ポンプ自動車を本署に配置　（日本損害保険協会から寄贈）
９．１４　救急自動車を本署に配置　（日本自動車工業会から寄贈）
１０．　４　防災防火広報車を消防本部に配置　（茅ヶ崎ロータリークラブから寄贈）
１２．２８　連絡車を消防本部に配置
３．　１．３１　飲料水兼用貯水槽を浜須賀中学校に設置する。
３．　４　救助工作車を本署に配置
４．　１　消防署鶴嶺出張所を開設（消防車１台　救急車１台　人員２０人配置）
４．　１　水難救助活動運用開始
４．　１　ポケットベルを消防長、署長、担当課長に配布する。
４．　１　救急自動車に自動車電話を積載する。
７．２５　救急自動車を小和田出張所に配置　（日本消防協会から寄贈）
８．　１　防災行政無線（子局）の難聴地区の調査を実施する。
８．２０　第２０回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上複合検索、水上溺者搬送）

４．　３．１０　　２５m級屈折はしご車を本署に配置
　　３．　１　　防災マップを全戸に配布
　　３．１２　　飲料水兼用貯水槽を萩園中学校に設置
　　年 度 内　　防災行政用無線子局を１箇所撤去、４箇所設置、計１０９箇所
　　７．　１　　半谷隆明氏署長に就任
　１１．　１　　救急業務拡大９項目応急処置の実施
５．　１．　１　　完全週休二日制の施行
　　３．３０　　飲料水兼用貯水槽を東小和田公園に設置
　　年 度 内　　本署・各出張所にファクスを設置
　　４．　１　　消防本部消防署組織等規程の改正
　　消防署松林出張所を開設
　　鶴嶺小隊水難隊を兼ねる。
　　４．　１　　本署配置の消防隊１隊、救急隊１隊、松林出張所に配置替（消防車１台　救急車１台　人員２２人配置）
　　４．　１　　太田　貢氏　８代消防長に就任
　　４．　１　　職・階級制度の改正に伴い、課長補佐職及び主査司令補の導入
　　８．２０　　第２２回消防救助技術全国大会優秀賞（基本泳法）
　１０．　１　　横浜市救急救命士養成所に入所
６．　３．２９　　飲料水兼用貯水槽を茅ヶ崎市営球場に設置
　　４．２７　　救急救命士誕生
　１２．２７　　高規格救急自動車を本署に配置
７．　２．１０　　水難救助工作車を鶴嶺出張所に配置
　　３．２４　　飲料水兼用貯水槽を浜之郷公園に設置
　　４．　１　　吉川良雄氏　９代消防長に就任
　　飯島　隆氏署長に就任
　　消防本部組織等規則改正を行う。消防本部、庶務課、予防課、警防課に改める。
　　７．　１　　機構改革により防災課が市長部局へ移り防災対策課となる。
　　９．１１　　消防本部・消防署・小和田及び南湖出張所の耐震診断調査を実施
　１０．　１　　消防用超短波無線に全国波を導入
８．　４．　１　　半谷隆明氏　１０代消防長に就任
９．　３．１８　　飲料水兼用貯水槽を西浜中学校に設置
　　３．　－　　消防本部、５出張所、茅ヶ崎公園に災害対策用資機材を配備
　　４．　１　　佐藤武雄氏　１１代消防長に就任
　　浅岡幸信氏署長に就任
　　８．２２　　第２６回消防救助技術全国大会優秀表彰（斜めブリッジ救助）
１０．　２．２７　　高規格救急自動車を小和田出張所に配置
　　３．　７　　平成９年度消防庁長官表彰旗授与
　　３．１１　　消防署及び小和田出張所の耐震補強工事を実施
　　４．　１　　鈴木達夫氏　署長に就任
　　消防本部組織等規則改正　庶務課を総務課に、係を担当に改める。

１１．　２．２６　本署に監視カメラ、出張所にインターホン設置工事を実施、夜間の受付勤務を廃止する。
３．１５　自動車電話等転送専用回線設置工事を実施
８．１９　第２８回消防救助技術全国大会優秀表彰（引揚救助）
１０．　４　水野南雄氏　１２代消防長に就任
１２．　２．　１　高規格救急自動車を松林出張所に配置
２．１７　指揮車（トヨタレジアスエース　２，０００ｃｃ）を本署に配置
４．　１　鈴木善明氏　署長に就任
１１．　１　消防署南湖出張所を廃止し、消防署海岸出張所を開設
本署配置の屈折梯子車、鶴嶺出張所配置の水難救助工作車、旧南湖出張所の消防車を海岸出張所に配置替（人員１８人配置）
１３．　２．　１　高規格救急自動車を海岸出張所に配置（人員１０人配置）
３．１６　飲料水兼用貯水槽を緑が浜小学校に設置
４．　１　金子光男氏　１３代消防長に就任
古谷一郎氏署長に就任
９．２６　高規格救急自動車を鶴嶺出張所に配置
９．２８　水上オートバイを海岸出張所に配置
１４．　４．　１　消防本部組織等規則改正　総務課を消防総務課に、消防署通信指令室を消防本部警防課指令担当に改める。
石黒　均氏　署長に就任
１５．　４．　１　鈴木善明氏　１４代消防長に就任
消防緊急通信指令システムの更新
９．１１　茅ヶ崎市消防本部のホームページを開設
１６．　１．１３　３５ｍはしご付消防自動車を本署に配置
３．　４　消防本部及び消防署の防水塗装工事を実施
３．２４　小和田出張所の防水塗装工事を実施
４．　１　今井信直氏　署長に就任
７．　１　小出暫定広場に消防操法訓練場を併設
８．２６　第３３回消防救助技術全国大会優秀表彰（水上：複合検索）
１１．　３　高規格救急自動車を小出出張所に配置（人員１０人配置）
１１．１９　第７回全国消防広報コンクールホームページ部門優秀賞（消防庁長官）
１７．　４．　１　竹森　浩氏　１５代消防長に就任
小澤賢三氏　署長に就任
消防本部に救命課を新設
６．２１　絵画「星降る沙漠」の寄贈（画家　岩本和子氏）
８．　１　消防車両及び公共機関へＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置開始
１２．１４　チタン製三連はしごの寄贈（トーホーテック㈱）
１８．　１．１９　茅ヶ崎市応急手当普及協会発足
４．　１　今井信直氏　１６代消防長に就任
消防本部組織等規則及び消防署組織等の一部改正　予防業務に関する窓口の一元化（消防同意事務等）

	６．　１	住宅に住宅用火災警報器の設置義務付け
	８．２４	第３５回全国消防救助技術指導会表彰（基本泳法）
	１２．２２	市役所ロビーにて「茅ヶ崎消防あゆみ展」を開催
	１２．　１	茅ヶ崎市災害時協力事業所登録制度の運用開始
１９．	２．２０	本署　救助工作車を更新
	９．　１	出張所に不在時対応電話を設置
２０．	２．１８	財団法人日本消防協会から消防団多機能型消防車の寄贈
	４．　１	熊澤利房氏　署長に就任
	７．２４	採用試験に伴うインターンシップを実施
	８．２９	第３７回全国消防救助技術指導会表彰（複合検索）
	１１．　９	第１回消防フェスティバルを開催
２１．	４．　１	太田　登氏　署長に就任
		茅ヶ崎市消防団協力事業所表示制度の運用開始
２２．	４．　１	女性消防分団（第２２分団　通称：茅ヶ崎ファイヤーレディース）発足
		消防ポンプ付救助自動車の運用（小和田出張所）

歴　代　消　防　長

初代消防長	小川　信治	昭和２３年　３月　７日	
２代消防長	堀越　　誠	昭和３４年１２月２８日	
３代消防長	朝倉　房治	昭和４１年１１月　１日	
４代消防長	大津　武男	昭和４３年１１月１１日	
５代消防長	斎藤　清二	昭和４８年　５月　１日	
６代消防長	小林　吉男	昭和５９年１１月　１日	
７代消防長	清水　弘和	昭和６３年　４月　１日	
８代消防長	太田　　貢	平成　５年　４月　１日	
９代消防長	吉川　良雄	平成　７年　４月　１日	
１０代消防長	半谷　隆明	平成　８年　４月　１日	
１１代消防長	佐藤　武雄	平成　９年　４月　１日	
１２代消防長	水野　南雄	平成１１年１０月　４日	
１３代消防長	金子　光男	平成１３年　４月　１日	
１４代消防長	鈴木　善明	平成１５年　４月　１日	
１５代消防長	竹森　　浩	平成１７年　４月　１日	
１６代消防長	今井　信直	平成１８年　４月　１日	（現職）

叙　位　・　叙　勲　者

受章年月日	氏名	元階級	勲等別
昭和５４年１１月１６日	美濃島喜三郎	司令長	正七位勲五等
昭和５６年　４月２９日	大津武男	消防監	勲五等瑞宝章
（昭和６０年　６月１９日		正六位）	
昭和５７年１１月１０日	石川　馨	司令長	正七位勲五等瑞宝章
平成　４年　３月２１日	城田満也	消防監	従六位勲五等瑞宝章
平成　４年　４月２９日	荒井茂男	司令補	勲七等青色桐葉章
平成　５年　２月１６日	岩壁　清	司令長	従七位勲六等瑞宝章
平成　７年　４月２９日	和田浦吉	司令補	勲七等青色桐葉章
平成　９年　４月２９日	関野恒吉	司令長	勲五等双光旭日章
（平成１９年　７月　３日		正六位）	
平成１０年１２月１１日	栗原光博	司令	従七位勲六等瑞宝章
平成１２年　６月　１日	木村正幸	司令長	正七位勲六等單光旭日章
平成１３年　３月２３日	冨田　進	司令	正七位勲六等單光旭日章
平成１３年１１月　９日	斎藤清二	消防監	勲五等双光旭日章
平成１４年１２月１８日	矢島　進	司令	正七位勲六等單光旭日章
平成１５年１１月　４日	内藤政司	司令長	瑞宝單光章
平成１６年１１月　３日	関野大作	司令	瑞宝單光章
（平成１９年１０月２１日		正七位）	
平成１７年　１月２５日	山本　勇	司令	従七位瑞宝單光章
平成１７年　５月２５日	配島高雄	司令長	瑞宝單光章
平成１７年１２月　２日	小島光徳	司令長	従六位瑞宝双光章
平成１７年１２月１２日	石黒幸次	司令	従七位瑞宝單光章
平成１８年１１月　３日	高橋雷太郎	司令長	瑞宝單光章
平成１９年　４月２９日	岡崎　武	司令長	瑞宝双光章
平成１９年　５月２０日	小町利夫	司令	従七位瑞宝單光章
平成１９年１１月　３日	加藤恒男	司令長	瑞宝双光章
平成１９年１１月　３日	小林吉男	消防監	瑞宝双光章
平成２０年　４月２９日	島崎　彰	司令長	瑞宝双光章
平成２０年　４月２９日	亀井善彦	司令長	瑞宝双光章
平成２０年１１月　３日	小菅隆治	司令長	瑞宝双光章
平成２０年１１月　３日	佐藤好男	司令長	瑞宝双光章

平成２１年１１月　３日　石川幸雄　　司令長　　瑞宝双光章

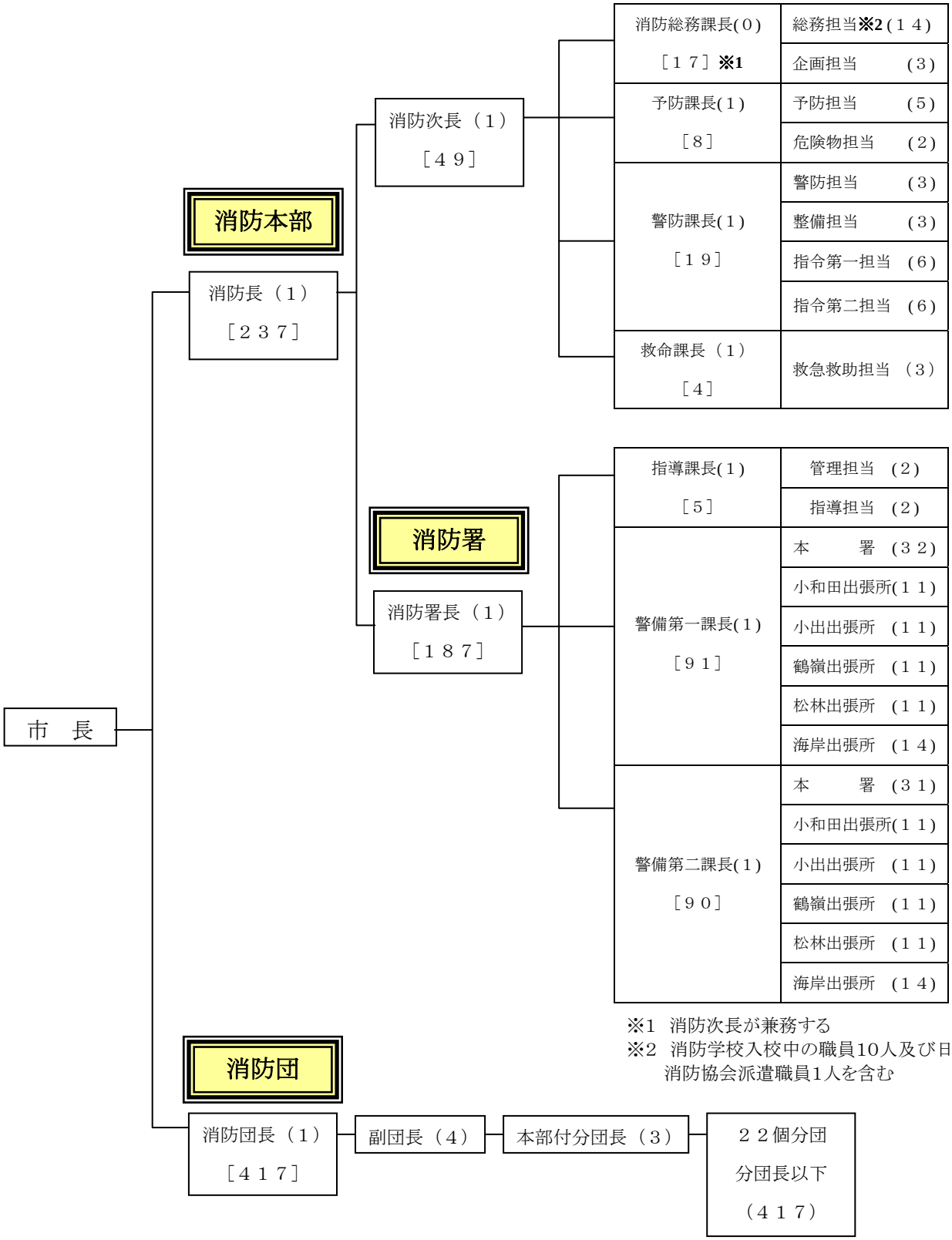
《平成２２年４月１日現在》

MEMO

消　防　の　機　構

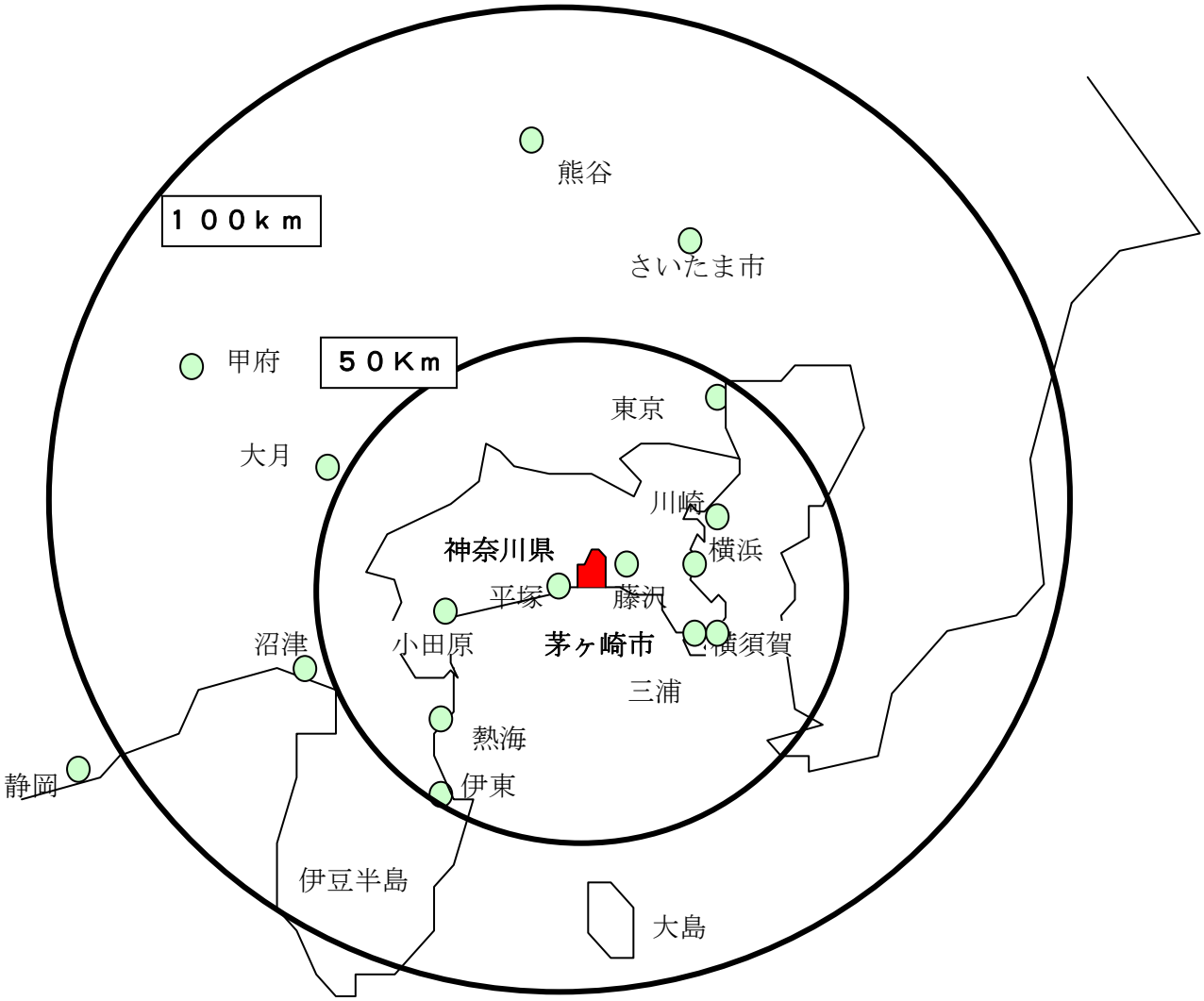
平成２２年４月１日現在

定数２３９人　（　）内は人員　[　]内は小計を表す。
実員２３７人



市の概要

本市は、神奈川県の中南部、東経139度24分、北緯35度19分に位置し、東京から西に50km あまり、東は藤沢市、西は相模川をはさんで平塚市、南は海岸線約6km に及ぶ相模湾、そして北は寒川町と接しています。面積は35．76km²、東西6．94km、南北7．60km で、周囲は30．46km に及んでいます。

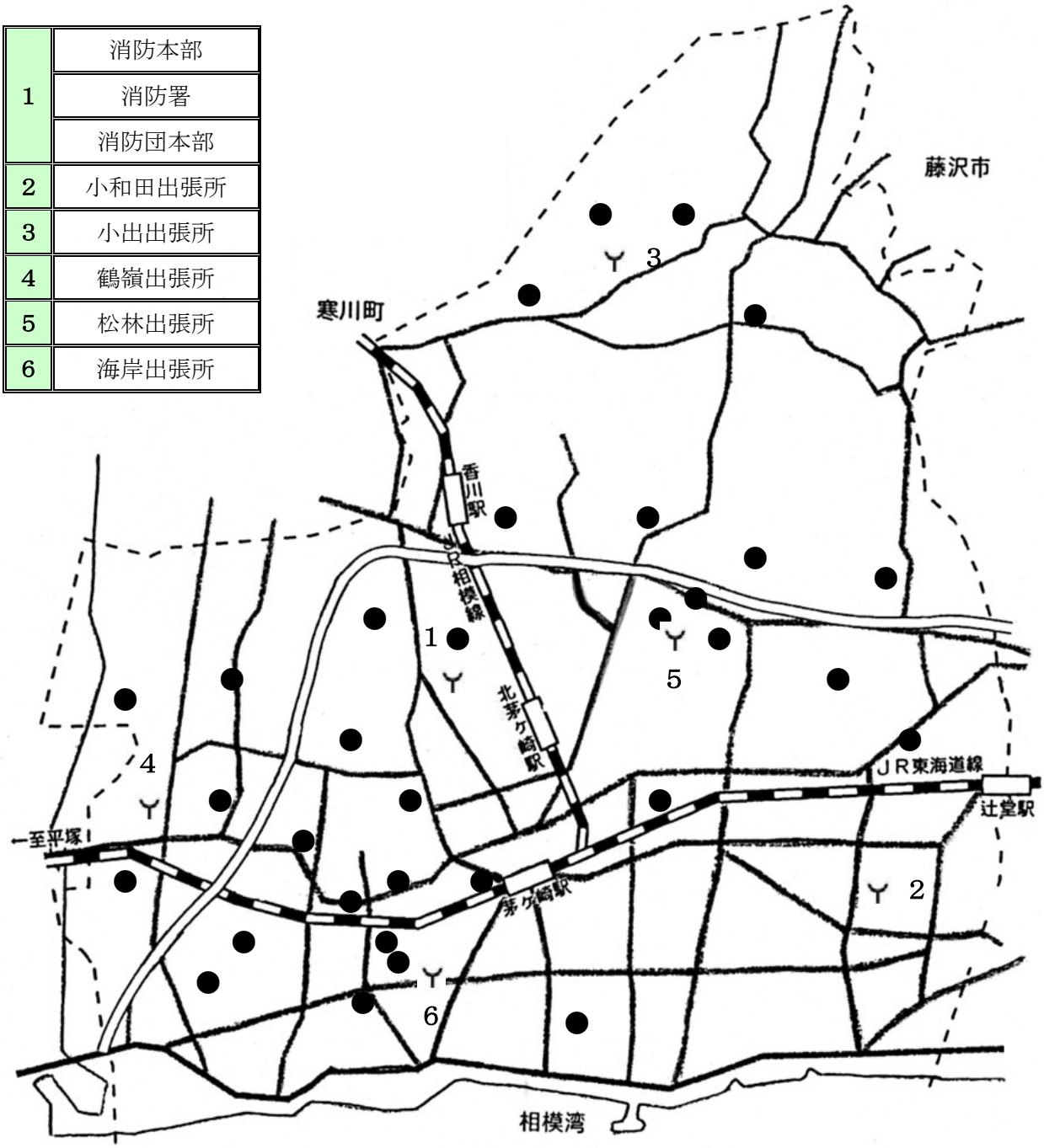


平成２２年４月１日現在

面　積	人　口	世帯数	人口密度 （1km²当りの人口）	１世帯当りの人口
35.76km²	234,412 人	93,933 世帯	6,555 人	2.49 人
東西 6.94km 南北 7.60km	男　115,758 人 女　118,654 人			
海岸線 5.95km	平成２１年４月１日との比較			
周囲 30.46km	増 1,172 人	増 1,059 世帯	増 23 人	減 0.02 人

消防分布図

1	消防本部
	消防署
	消防団本部
2	小和田出張所
3	小出出張所
4	鶴嶺出張所
5	松林出張所
6	海岸出張所



Y は消防本部・消防署各出張所を表します。

● は消防団各分団器具置場を表します。

＊なお、消防本部各庁舎の名称・所在地は３０ページに、各分団器具置場の名称・所在地は７２ページに掲載してあります。

総　　務

茅ヶ崎市消防出初式

（平成２２年１月１０日）

MEMO

消防費
予算

平成22年度　単位千円

款	項	目	金額	比率
消防費	消防費	常備消防費	2,123,650	93.39%
		非常備消防費	60,335	2.65%
		消防施設費	90,039	3.96%
予算総合計			2,274,024	100.00%

市総予算との比較

単位　千円

区分＼年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	前年度比率
市総予算額	55,080,000	57,790,000	61,410,000	5.89%
消防予算額	2,383,907	2,306,867	2,274,024	−1.44%
比率	4.33%	3.99%	3.70%	

市決算との比較

区分＼年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市決算額	55,377,338,086	57,803,762,658	61,634,884,012
消防決算額	2,285,961,218	2,358,346,074	2,245,903,732
比率	4.13%	4.08%	3.64%

人口との比較(予算)

平成22年4月1日現在

区分＼項目	予算額(千円)	1世帯当り(円)	市民1人当り(円)
消防予算額	2,274,024	24,209	9,700

世帯数　93,933世帯　　人口　234,412 人

消防力の現有

消防職員の定員・実員

平成22年4月1日現在

定数	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	行政職員
239	237	1	1	6	42	70	42	30	41	4
比　　率（%）		0.4%	0.4%	2.5%	17.7%	29.5%	17.7%	12.7%	17.3%	1.7%

消防職員の割合

平成22年4月1日現在

区分	人口に対して	世帯に対して	面積に対して
消防職員の割合	989人/1人	396世帯/1人	0．15km^2 /1人

署所

平成22年4月1日現在

区 分	消防本部	消 防 署	出 張 所
現 有 数	1	1	5

消防車両（常備）

22年度

区分	消防ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車	水槽付消防ポンプ自動車	救急車	特殊車両	非常用自動車		その他
								消防ポンプ車	救急車	
現有数	6	2	2	1	2	6	10	2	1	4

階級別年齢別消防職員構成表(市役所出向職員3名を含む)

平成22年4月1日現在

年齢	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監	行政職員
総数	240	41	30	44	71	42	6	1	1	4
18歳	2	2								
19歳	2	2								
20歳	3	3								
21歳	6	6								
22歳	2	2								
23歳	2	2								
24歳	5	5								
25歳	7	7								
26歳	3	3								
27歳	8	5	3							
28歳	9	4	5							
29歳	7		7							
30歳	3		3							
31歳	4		3	1						
32歳	10		7	3						
33歳	7		2	5						
34歳	13			13						
35歳	10			10						
36歳	11			11						
37歳	9				9					
38歳	10			1	9					
39歳	3				3					
40歳	6				6					
41歳	6				6					
42歳	5				5					
43歳	6				5					1
44歳	4				3					1
45歳	3				3					
46歳	6				6					
47歳	5				2	3				
48歳	7				3	3	1			
49歳	7				4	3				
50歳	5				2	2	1			
51歳	7				2	5				
52歳	3				2	1				
53歳	6					5	1			
54歳	4					3	1			
55歳	5				1	3		1		
56歳	5					3				2
57歳	4					4				
58歳	4					4				
59歳	6					3	2		1	
60歳	0									
平均年齢	39.0	25.1	29.5	34.2	44.1	54.2	53.8	54.0	58.0	46.0

小数点第二位以下四捨五入

階級別勤続年数別消防職員構成表 （市役所出向職員３名を含む）

平成22年４月１日現在

年齢	総数	消防士	副士長	士長	司令補	司令	司令長	消防監	消防正監	行政職員
総数	240	41	30	44	71	42	6	1	1	4
1年未満	10	10								
1年以上	4	4								
2年以上	9	9								
3年以上	9	9								
4年以上	7	7								
5年以上	4	1	3							
6年以上	14	1	13							
7年以上	4		4							
8年以上	4		4							
9年以上	7		3	4						
10年以上	7		2	5						
11年以上	2		1	1						
12年以上	2			2						
13年以上	2			2						
14年以上	0									
15年以上	6			4	2					
16年以上	11			11						
17年以上	10			7	3					
18年以上	9			8	1					
19年以上	10				10					
20年以上	11				10					1
21年以上	6				5					1
22年以上	4				4					
23年以上	2				2					
24年以上	13				12	1				
25年以上	0									
26年以上	2				2					
27年以上	4				2	1	1			
28年以上	6				6					
29年以上	9				2	6	1			
30年以上	9				4	5				
31年以上	8				3	4	1			
32年以上	6				1	3	1			1
33年以上	4				1	3				
34年以上	3					3				
35年以上	4					3	1			
36年以上	5					3		1	1	
37年以上	4				1	2				1
38年以上	3					2	1			
39年以上	3					3				
40年以上	2					2				
41年以上	1					1				
平均勤続年数	18.4	2.2	6.7	14.9	24.4	34.0	31.5	35.0	35.0	23.5

小数点第二位以下四捨五入

消防職員年度別公務災害発生状況 （平成22年４月現在で申請中のものを除く）

年度	区分	件数等	負傷時の状況							治療期間		
			火災	風水害等の災害	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	捜索	その他	1週間未満	1か月未満	1か月以上
21年度	件 数	2			1	1					1	1
	死 者	0										
	負傷者	2			1	1					1	1
20年度	件 数	1							1	1		
	死 者	0										
	負傷者	1							1	1		

研修等派遣状況

派遣先	研修等種別		人員	司令	司令補	士長	副士長	士
消防研修大学	警防科（第８５期）		1		1			
	幹部科（第１８期）		1	1				
	火災調査科（第１７期）		1			1		
	国民保護コース		1		1			
消防研修学校	初任	第２０５期	4					4
	専科	救急科	3			3		
			4				1	3
		警防科	2			2		
		予防査察科	1		1			
		救助科	1				1	
		特殊災害科	1			1		
		火災調査科	1		1			
	幹部	中級幹部科	1		1			
	特別	水難救助課程	1				1	
		幹部特別教育（研修教官）	1			1		
		梯子操作員課程	1			1		
		特別救助隊員研修	1			1		
		救命士研修	1		1			
救急救命東京研修所			2			2		
救急救命士就業前研修			2			1	1	
救急救命士再教育研修			12		7	3	2	
救命士薬剤投与講習			2		2			
救命士気管挿管講習			2		1	1		
メンタルヘルス研修			1		1			
新地方公会計研修			1			1		
救急セミナー（心電図コース）			1				1	
救急セミナー			3	1	1			1
消防防災に関する研修講座			2				2	
潜水医学講座			1				1	
潜水業務管理研修			1		1			
潜水技術研修			2			1		1
二級小型船舶・特殊小型船舶操縦士養成研修			2			2		
第４７回救急隊員学術研究会			1			1		
玉掛け技能講習			3				2	1
運転適性検査指導者養成講習			25		7	14	4	
小型移動式クレーン技能講習			3				2	1
第三級陸上特殊無線技士			2			2		
コミュニケーション関係研修			1	1				
危険物保安技術講習会			2			2		
建築防火防災研修			2				2	
惨事ストレス対策研修				1				

上記研修は主な研修のみを掲載しております。

消防庁舎概要

部所別	消防本部	消防署	消防通信指令庁舎	小和田出張所
	TEL85－4591（※裏表紙参照）			TEL82－8300
所在地	矢畑 1280 番地の3			松浪二丁目 3 番 37 号
建築年月日	昭和 56 年 3 月 9 日	昭和 43 年 11 月 13 日	昭和 62 年 3 月 5 日	昭和 40 年 12 月 24 日
構造	鉄筋コンクリート造 2階建（塔屋付）	鉄筋コンクリート造 3階建(塔屋付)	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造 2階建
敷地面積	2,614．85㎡			879．33㎡
建築面積	348．34㎡	739．97㎡	265．81㎡	194．98㎡
建築延面積	699．11㎡	1,199．21㎡	503．61㎡	363．05㎡

※面積には、付属建物を含む。

消防本部・消防署

消防通信指令庁舎

小和田出張所

小出出張所 TEL53－3004	鶴嶺出張所 TEL85－8811	松林出張所 TEL52－1230	海岸出張所 TEL83－3311
行谷1090番地8	今宿 911 番地6	赤羽根 338 番地1	中海岸四丁目2番 41 号
昭和 61 年 3 月 25 日	平成 3 年 3 月 27 日	平成 5 年 3 月 22 日	平成 12 年 10 月 23 日
鉄骨造2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造 2階建	鉄筋コンクリート造2階建
722. 39㎡	655. 19㎡	1, 359. 38㎡	778.33㎡
202. 981㎡	252. 99㎡	267. 00㎡	344.58㎡
386. 581㎡	408. 82㎡	423. 40㎡	541.44㎡

小出出張所

鶴嶺出張所

松林出張所

海岸出張所

消防職員の年度別条例定数及び実員

（　　）は再任用職員

年度	定数	実員	年度	定数	実員	年度	定数	実員
S25.4.1	30	30	S53.4.1	119	118	H18.4.1	239	234
S26.4.1	30	30	S54.4.1	129	128	H19.4.1	239	238
S27.11.1	32	32	S55.4.1	139	137	H20.4.1	239	238
S28.7.3	36	36	S56.4.1	149	148	H21.4.1	239	234
S29.4.1	36	44	S57.4.1	155	155	H22.4.1	239	237(2)
S30.4.5	44	44	S58.4.1	159	159			
S31.4.1	44	44	S59.4.1	159	159			
S32.4.1	44	44	S60.4.1	164	158			
S33.4.1	44	44	S61.4.1	170	170			
S34.4.1	47	46	S62.4.1	175	170			
S35.4.1	47	46	S63.4.1	185	177			
S36.4.1	47	46	H元.4.1	185	182			
S37.4.1	47	47	H2.4.1	193	188			
S38.4.1	49	49	H3.4.1	193	193			
S39.4.1	52	52	H4.4.1	208	200			
S40.10.1	69	62	H5.4.1	218	208			
S41.4.1	69	68	H6.4.1	218	217			
S42.4.1	72	71	H7.4.1	218	218			
S43.4.1	78	75	H8.4.1	218	210			
S44.4.1	82	81	H9.4.1	218	210			
S45.4.1	90	85	H10.4.1	218	210			
S46.4.1	98	97	H11.4.1	218	210			
S47.4.1	100	99	H12.4.1	218	217			
S48.4.1	102	102	H13.4.1	221	220			
S49.4.1	112	110	H14.4.1	221	220（1）			
S50.4.1	114	114	H15.4.1	221	220			
S51.4.1	114	113	H16.4.1	231	230			
S52.4.1	116	114	H17.4.1	231	231			

予　　防

防火ポスター・作文コンクール入賞者

（平成２１年消防フェスティバル）

MEMO

立入検査実施状況（定期立入検査）

平成21年度

区分 / 防火対象物			立入検査対象数	立入検査実施件数	指導対象物数	無指導対象物数	指導事項内容内訳						
							指導総数	防火管理等	消防用設備	危険物関係	火気使用等	電気設備等	建築物関係
合計			4,276	499	434	64	795	411	337	13	3	2	29
1項	イ	劇場・映画館	3	1		1							
	ロ	公会堂・集会場	32	9	8	1	20	17	3				
2項	イ	キャバレー・カフェー											
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	3	2	1	3	1	2				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等											
	ニ	個室形態の業務を営む店舗	4										
3項	イ	待合・料理店											
	ロ	飲食店	64	13	11	1	51	39	12				
4項		百貨店・マーケット	142	15	13	2	49	24	19		1		5
5項	イ	旅館・ホテル	16	7	6	1	10	6	4				
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,598	279	252	27	302	149	148			1	4
6項	イ	病院・診療所	53	12	7	5	22	13	7				2
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	26	2	1	1	9	2	6				1
	ハ	老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	45	2	2								
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	21	6	4	2	5	3	2				
7項		小・中・高・大・各種学校	44	32	30	2	94	19	58	11	2		4
8項		図書館・博物館	4										
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1										
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3	1	1		3		2	1			
10項		車両停車場	1										
11項		神社・寺院・教会	47										
12項	イ	工場・作業所	182	8	3	5	7		6			1	
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13項	イ	自動車車庫・駐車場	6										
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫											
14項		倉庫	66	1		1							
15項		前各項に該当しない事業所	174	8	3	5	16	8	5				3
16項	イ	特定複合用途防火対象物	562	99	90	9	202	129	62	1			10
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	170	1	1		2	1	1				
17項		重要文化財・重要民俗資料	2										

※延べ面積150㎡未満を除く

防火管理者選任状況

平成21年度

防火対象物 ＼ 区分			防火管理者選任義務事業所数	選任済み事業所数	平成21年度中の届出		
					防火管理者選任解任届	消防計画作成変更届	共同防火管理協議事項作成変更届
合計			1015	535	253	270	9
1項	イ	劇場・映画館	3	3	2	1	
	ロ	公会堂・集会場	22	19	8	9	
2項	イ	キャバレー・カフェー					
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	6	3	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等					
	ニ	個室形態で業務を営む店舗	4	4		2	
3項	イ	待合・料理店					
	ロ	飲食店	57	40	24	19	
4項	×	百貨店・マーケット	83	64	43	48	
5項	イ	旅館・ホテル	11	9	2	3	
	ロ	寄宿舎・共同住宅	246	88	37	38	
6項	イ	病院・診療所	22	15	4	6	
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	26	26	17	17	
	ハ	老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	33	33	11	11	
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	21	19	3	2	
7項	×	小・中・高・大・各種学校	42	41	27	32	
8項	×	図書館・博物館	3	2	1	1	
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1	1			
10項	×	車両停車場	1	1	1	1	
11項	×	神社・寺院・教会	27	8	1	2	
12項	イ	工場・作業所	54	28	14	14	
	ロ	映画・テレビスタジオ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫					
14項	×	倉庫	4	1			
15項	×	前各項に該当しない事業所	59	38	18	16	1
16項	イ	特定複合用途防火対象物	266	82	37	45	8
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	21	6			
17項	×	重要文化財・重要民俗資料					

届出状況

平成21年度

種別 ＼ 月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	599	47	39	46	71	45	42	42	57	55	60	53	42
道路工事届	427	32	25	31	53	38	30	30	41	37	38	44	28
火煙発生届	68	6	2	3	6	2		8	9	12	14	3	3
煙火打上届	21		2		5	4	6	3	1				
催物開催届													
火気使用等許可申請書	21	3	3	3	2		1	1	2		2	1	3
開発行為事前協議願書	62	6	7	9	5	1	5		4	6	6	5	8

届出状況（予防課・指導課）

平 成 21 年 度

種別＼月別	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	2,941	328	272	225	314	173	197	253	265	252	213	186	263
防火管理者選任解任届	255	42	27	27	18	17	18	28	16	19	9	19	15
防災管理者選任解任届													
消防計画作成変更届	264	37	29	24	23	17	20	26	24	19	12	16	17
自衛消防組織設置変更届													
消防設備等点検結果報告書	1,186	134	146	57	155	49	68	93	113	105	96	82	88
防火対象物点検結果報告書	85	6	11	6	4	3	9	4	6	5	13	2	16
防災管理点検結果報告書													
工事整備対象設備等着工届	173	18	12	13	20	10	18	11	16	13	13	16	13
消防用設備等設置届	375	36	18	49	32	34	24	33	25	21	25	32	46
防火対象物使用開始届	220	12	11	20	18	8	10	17	36	22	25	11	30
電気設備設置届	56	1	4	1	5	5	7	4	3	3	8	2	13
火を使用する設備等設置届	18			4	4	1	2	3		2		1	1
液化石油ガス等の届出等	26			3	2	2	1	4	4	6	2	1	1
指定数量以上の危険物申請等	242	41	13	19	31	23	13	24	15	31	9	4	19
指定数量未満の危険物届出等	41	1	1	2	2	4	7	6	7	6	1		4

訓練用品貸出状況

平成21年度

＼		訓練用品				119番通報訓練
		訓練用水消火器	訓練用水消火器の的	火災予防啓発用ビデオテープ	幼児向け絵本・紙芝居等	
合計		203	112	26	1	94
1項	イ	2				1
	ロ	37	27	1		21
2項	イ					
	ロ	5	3	1		
	ハ					
	ニ					2
3項ロ		2	1	3		4
4項		9	4			12
5項	イ					2
	ロ	33	14			5
6項	イ	14	7	2		4
	ロ	24	13	11		15
	ハ					
	ニ	2	2		1	1
7項		10	7	2		
8項		2	1			1
9項	イ	4	2			1
	ロ					
10項		1	1			1
11項		2	1			
12項	イ	30	14	3		6
	ロ					
13項	イ					
	ロ					
14項						
15項		8	5	1		4
16項	イ	18	10	2		14
	ロ					
17項						

貸出用品

平成22年4月現在

訓練用水消火器・的等

分類	数量
訓練用水消火器【コンプレッサーによる充てんタイプ】	15本
訓練用水消火器【水道の水圧による充てんタイプ】	7本
訓練用水消火器【水道の水圧による充てんタイプ】充てん専用ホース	5本
訓練用水消火器用の的（既製品）	3台
訓練用水消火器用の的（指導課製作品）	3台

幼児向け絵本・紙芝居等

分類		数量
紙芝居	紙芝居「もりのしょうぼうだん」（既製品：CD附属）	3セット
	紙芝居「ふたごのゆうどうとう」（指導課製作品）	2セット
絵本	絵本「ふたごのゆうどうとう」【A4サイズ】	2冊
	絵本「ふたごのゆうどうとう」【A3サイズ】	2冊
カードゲーム	防災用カードゲーム　ぼうさいダック【B4サイズ】	4セット
	防災用カードゲーム　ぼうさいダック解説用ビデオテープ	2本

火災予防啓発用ビデオテープ

分類	種別	タイトル	制作年	時間
住宅防火	VHS	うっかり家の人々　ー住宅防火診断のすすめー	平成3年	20分
	VHS	うっかり町は大騒ぎ　ー住宅防火診断のすすめー	平成4年	20分
	VHS	うっかり町の屋根の下　ー住宅防火のすすめー	平成5年	25分
	VHS	住宅火災から学ぶ	平成6年	25分
	VHS	住宅防火　あなたの家庭は大丈夫？	平成7年	20分
	VHS	家族de防火	平成8年	20分
	VHS	尊い命をまもるために！（住宅用火災警報器）	平成17年	15分
	VHS	家族でガッテン　住宅防火	不明	25分
	VHS	危険がいっぱい　ーわが家の事故防止対策ー	不明	21分
子供向け	VHS	ケンちゃんと防炎家族	平成2年	18分
	VHS	はたらくしょうぼうじどうしゃ①	平成6年	26分
	VHS	はたらくしょうぼうじどうしゃ②	平成6年	26分
	VHS	トンクルピーのじしんようじん	平成8年	11分
	VHS	わんわん火事だ　わん	不明	18分
	VHS	レスキューQ太のかつやく	平成10年	15分
	DVD	ニャンパラの仲間たち	平成10年	12分
	DVD	ごめんね　チッチ	平成12年	11分
	DVD	みらいしょうぼうし　キュータ	平成13年	12分
地震	VHS	検証　阪神・淡路大震災と消防	平成8年	30分
	VHS	20世紀　日本の地震災害	平成12年	56分
	VHS	安全のデザイン　-職場の地震対策-	不明	15分
防火管理	VHS	わたしたちの防火	平成2年	35分
	DVD	認知症高齢者グループホーム等における防火安全対策	平成20年	18分
	VHS	自衛消防訓練の実施	不明	20分
	VHS	工場防火を考える	不明	25分
	VHS	あなたは今日から防火管理者	不明	16分
	VHS	大型店舗　防火管理の知識	不明	16分
	VHS	ホテル・旅館　防火管理の知識	不明	16分
	VHS	火災を断つ　正しい消火の技術を学ぶ	不明	18分
	VHS	火災・煙・有毒ガス　検証　新宿歌舞伎町ビル火災	不明	22分
	VHS	火災から高齢者を守る　検証　長崎グループホーム火災	不明	21分
	VHS	消防設備等の取り扱い	不明	20分
	VHS	放火を防ぐ・住民の手・・・安全で安心なまちづくり	不明	25分
	VHS	思わぬ火もと 高齢社会・増え続けている電気火災	不明	20分
	VHS	火災！逃げ遅れを防げ！　増加している高齢者住宅火災	平成21年	21分
	DVD	火災事例に学ぶ	平成21年	32分
	DVD	防火管理者の仕事	平成21年	29分
	DVD	防火管理者の行動	平成21年	23分
	DVD	火気管理	平成21年	20分
	DVD	日々の安心は日頃の防火意識から　防火管理の意義と制度	平成21年	20分
	DVD	充実した防火管理を行うために　消防計画の作成要領	平成21年	20分

平成21年度防火ポスター・作文コンクール応募作品数

区分 内容	小学生	中学生	合計
防火ポスター	283	104	387
防火作文	12	13	25

作文入賞者

◎小学生の部

市長賞	今宿小学校	石橋希一朗	「火事をなくそう」
教育長賞	浜須賀小学校	中山　唯	「思い出をうばわないで」
消防長賞	東海岸小学校	林　萌々子	「防災についてできること」
危険物安全協会長賞	緑が浜小学校	高橋　凛	「消ぼう士さんと私たち」

◎中学生の部

市長賞	梅田中学校	佐藤　史絵	「すべてを失うこと」
教育長賞	中島中学校	杉嵜　森哉	「備えあれば憂いなし」
消防長賞	中島中学校	大川　真依	「火の使い方」
危険物安全協会長賞	中島中学校	角田　夏海	「火事にあって、、、」

ポスター入賞者

【市長賞】

◎小学１・２年生の部

緑が浜小学校　石井あかり

◎小学３・４年生の部

今宿小学校　本間雄也

◎小学５・６年生の部

西浜小学校　小林桃子

◎中学１年生の部

北陽中学校　横山晴槻

◎中学校２年生の部

鶴嶺中学校　野﨑かず李

◎中学校３年生の部

鶴が台中学校　江藤果織

ポスター入賞者

【教育長賞】

◎小学１・２年生の部

緑が浜小学校　青木花音

◎小学３・４年生の部

浜須賀小学校　田村直樹

◎小学５・６年生の部

梅田小学校　金井みゆ

◎中学１年生の部

鶴が台中学校　梶原秀華

◎中学校２年生の部

西浜中学校　新谷ともみ

◎中学校３年生の部

鶴嶺中学校　菅谷美緒

建　築

特殊建築物確認申請月別

（面積㎡＝小数点第１位を四捨五入）　　平成21年度

区分／月別	合計		新築		増築（敷地）		増改築（建家）		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	件数
合　計	362	204,148	181	138,582	16	6,740	4	77	4	2,150	49	56,599	80	28
４月	32	4,017	6	1,587			1	31			15	2,399	10	
５月	48	43,038	6	1,187	4	140					22	41,712	1	15
６月	18	3,082	6	1,025	2	2,038	2	19					5	3
７月	24	2,831	17	2,707	1	125							6	
８月	21	10,758	16	10,299	1	382					1	77		3
９月	9	1,084	5	1,017	1	67							2	1
１０月	14	2,040	5	949	1	54			2	905	4	131	2	
１１月	22	7,643	12	7,632	1	11							6	3
１２月	80	88,093	75	86,890	1	22					3	1,181	1	
１月	31	24,606	20	21,151	2	3,455							9	
２月	20	5,126	10	3,503	1	360			2	1,245	2	18	2	3
３月	43	11,829	3	635	1	86	1	27			2	11,082	36	

特殊建築物確認申請用途別　　（面積㎡＝小数点第１位を四捨五入）　　平成21年度

用途別＼区分			合計		新築		増築(敷地)		増改築(建物)		用途変更		計画通知		計画変更	許可申請
			件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	件数
合計			362	204,148	181	138,582	16	6,739	4	77	4	2,150	49	56,599	80	28
1項	イ	劇場・映画館														
	ロ	公会堂・集会場	3	1,195	2	78							1	1,117		
2項	イ	キャバレー・カフェー														
	ロ	遊技場・ダンスホール														
	ハ	風俗営業等														
	ニ	カラオケボックス等	1	1,024							1	1,024				
3項	イ	待合・料理店														
	ロ	飲食店	2												1	1
4項		百貨店・マーケット	9	4,997	8	4,997									1	
5項	イ	旅館・ホテル														
	ロ	寄宿舎・共同住宅	211	131,804	137	99,747							18	32,058	56	
6項	イ	病院・診療所	3	731					1	31	1	700			1	
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等														
	ハ	老人ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ・児童養護施設等	6	2,006	4	1,786					1	221			1	
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校														
7項		小・中・高・大・各種学校	21	22,922									16	22,922	5	
8項		図書館・博物館														
9項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等														
	ロ	イに揚げる公衆浴場以外の公衆浴場														
10項		車両停車場														
11項		神社・寺院・教会	1	361			1	361								
12項	イ	工場・作業所	9	20,202	6	18,164	2	2,038							1	
	ロ	映画・テレビスタジオ														
13項	イ	自動車車庫・駐車場	1	54			1	54								
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫														
14項		倉庫	6	59			1	23					4	36	1	
15項		前各号に該当しない事業所	72	8,699	15	3,970	11	4,262					10	467	9	27
16項	イ	特定複合用途防火対象物	14	9,508	7	9,256			3	46	1	206			3	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3	584	2	584									1	
17項		重要文化財・重要民俗資料														

一般建築物確認申請月別

平成21年度

種別 / 月別	合計		新築		増築（敷地）		増改築（建家）		計画変更	許可申請
	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	面積㎡	件数	件数
合計	965	100,887	856	99,205	9	1,115	19	567	68	13
4月	79	7,881	65	7,859			1	22	11	2
5月	68	6,880	63	6,864			1	17	4	
6月	91	9,772	77	9,400	2	257	2	115	9	1
7月	95	8,585	84	8,415	2	67	4	103	5	
8月	54	5,701	50	5,483	1	217			3	
9月	83	9,369	72	9,089	1	217	2	63	3	5
10月	88	10,419	83	10,328	1	77	1	15	3	
11月	85	8,580	81	8,580					2	2
12月	75	6,757	65	6,689			2	68	7	1
1月	79	7,819	71	7,805			2	14	6	
2月	100	9,511	86	9,112	2	278	2	121	9	1
3月	68	9,613	59	9,582			2	31	6	1

＊許可申請の面積は合計に含まれません。

中高層・地階建築物用途別（棟）

平成21年度

防火対象物		階数	総数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	合計	地下2階	地下3階
合計			5,364	313	353	79	32	32	8	11	15	3	7	7	6	1	867	3	2
1項	イ	劇場・映画館	3	1													1		
	ロ	公会堂・集会場	42	1	1												2		
2項	イ	キャバレー・カフェー																	
	ロ	遊技場・ダンスホール		1													1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																	
	ニ	個室形態の業務を営む店舗																	
3項	イ	待合・料理店																	
	ロ	飲食店	67	3													3		
4項		百貨店・マーケット	149	2	2	1											5		
5項	イ	旅館・ホテル	19		4						1						5		
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,985	130	256	27	16	24	6	7	13	2	4	7	6	1	499	2	
6項	イ	病院・診療所	63	10	3	1	3										17		
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	29	6	3	1											10		
	ハ	老人デイサービスセンター・児童福祉施設等	87		1	1											2		
	ニ	幼稚園・特別支援養護学校	32																
7項		小・中・高・大・各種学校	123	34	3												37		
8項		図書館・博物館	4																
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1																
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3																
10項		車両停車場	1																
11項		神社・寺院・教会	62																
12項	イ	工場・作業所	379	16	6	7	3										32		
	ロ	映画・テレビスタジオ																	
13項	イ	自動車車庫・駐車場	29	1			1										2		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫																	
14項		倉庫	135	1													1		
15項		前各項に該当しない事業所	423	20	6	2	1	2									31		2
16項	イ	特定複合用途防火対象物	555	69	55	32	7	5	2	4	1	1	3				179	1	
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	171	18	13	7	1	1									40		
17項		重要文化財・重要民族資料	2																

※「総数」は3階以下の建物を含む市内全体の棟数、「合計」は4階以上の棟数となります。

危険物施設

倍数別危険物施設数（完成検査済施設）　　平成21年度

区分＼製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所			販売取扱所	一般取扱所
												営業用	自家用	鉄道		
施設数	249	8	149	58	19	6	49	5	7	5	92	21	13		3	55
5倍以下	91	1	67	26	1	5	22	5	7	1	23		1		3	19
5倍を超え10倍以下	67	2	30	12	2		12			4	35		4			31
10 〃 50 〃	51	1	37	17	8	1	11				13		8			5
50 〃 100 〃	9	1	6		2		4				2	2				
100 〃 150 〃	7	2	3	1	2						2	2				
150 〃 200 〃	8		4	2	2						4	4				
200 〃 1000 〃	16	1	2		2						13	13				
1000 〃 5000 〃																

類別危険物施設数（完成検査済施設）　　平成21年度

区分＼製造所等の別		合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所			販売取扱所	一般取扱所
													営業用	自家用	鉄道		
施設数		249	8	149	58	19	6	49	5	7	5	92	21	13		3	55
単独	第1類																
	第2類	2		2	2												
	第3類																
	第4類	232	3	141	50	19	6	49	5	7	5	88	21	13		3	51
	第5類																
	第6類																
混在		15	5	6	6							4					4

危険物申請手数料収入状況

手数料単位（円）　　平成２１年度

製造所等の区分 ＼ 手数料の区分		合計	許可		完成検査		仮使用承認	完成検査前検査		仮貯蔵・仮取扱
			設置	変更	設置	変更		水張	水圧	
合計	件数	93	5	28	6	33	18	0	2	1
	手数料	1,471,100	124,000	747,000	75,000	405,500	97,200	0	17,000	5,400
製造所	件数	20		8		8	2		2	
	手数料	544,550		344,500		172,250	10,800		17,000	
屋内貯蔵所	件数	3	1		2					
	手数料	43,000	20,000		23,000					
屋外タンク貯蔵所	件数	12		3	2	4	3			
	手数料	93,700		30,000	26,000	21,500	16,200			
屋内タンク貯蔵所	件数	2		1		1				
	手数料	19,500		13,000		6,500				
地下タンク貯蔵所	件数	13	2	3	2	3	3			
	手数料	152,700	52,000	39,000	26,000	19,500	16,200			
簡易タンク貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
移動タンク貯蔵所	件数	0								
	手数料	0								
屋外貯蔵所	件数	1	1							
	手数料	13,000	13,000							
給油取扱所	件数	8		3		3	2			
	手数料	138,300		85,000		42,500	10,800			
販売取扱所	件数	0								
	手数料	0								
一般取扱所	件数	33	1	10		14	8			
	手数料	460,950	39,000	235,500		143,250	43,200			
その他	件数	1								1
	手数料	5,400								5,400

MEMO

警　　防

特　殊　災　害　訓　練

MEMO

開発事業

開発行為の指導目的

建築及び開発行為に関し、消防活動上必要な設備等の設置を指導することにより、秩序あるまちづくりの促進を図り、もって安全な都市環境を形成することを目的としています。

開発協議に関する事項

茅ヶ崎市まちづくり条例・都市計画法に基づく開発事前協議		平成20年度	平成21年度
窓口事前協議件数		109	82
協議書提出数	合計	80	62
	指示なし	58	43
	指示あり	22	19

※窓口での事前相談及び事前協議願書の提出件数

指示内容		平成20年度	平成21年度
義務設置	消火栓	0	1
	防火水槽（40t以上）	9	5
	消防活動空地	9	6
	消防活動空地（代替）	9	9
任意設置	解錠用専用箱	10	6
	エレベータートランクボックス	9	9
	ホバリングスペース	0	1

※事前協議を終了している指示件数

消防施設指導数	平成20年度	平成21年度
消火栓	0	1
防火水槽（40t以上）	4	3
消防活動空地	5	3
消防活動空地（代替）	6	6
解錠用専用箱	1	8
エレベータートランクボックス	5	4
ホバリングスペース	0	0

※年度内に完了検査を実施した件数

水　利

消防水利設置数（公設・私設）

平成21年度

区分		合計	公設	私設
合計		3,076	2,558	518
消火栓	計	2,429	2,311	118
	基準内	989	960	29
	基準外	1,440	1,351	89
防火水槽	計	565	215	350
	基準内	458	178	280
	100m^{3}以上	35	24	11
	60m^{3}以上	56	10	46
	40m^{3}以上	367	144	223
	基準外	107	37	70
	20m^{3}以上	101	32	69
	20m^{3}未満	6	5	1
その他の水利	計	82	32	50
	プール	41	32	9
	その他	41		41

※私設防火水槽の増については、平成17年度までは、消防水利指定承諾書の提出数であったが,平成18年度からは、開発行為に伴い設置したもの全てを加えた。

公設消火栓現有数

平成21年度

口径 / 管区	合計	基準外数			基準内数										
		計	75 mm	100 mm	計	150 mm	200 mm	250 mm	300 mm	350 mm	400 mm	450 mm	500 mm	600 mm	700 mm
合計	2,311	1,351	5	1,346	960	443	285	18	83	5	48	5	12	46	15
本署管内	549	301		301	248	103	93	7	16		28		1		
小和田管内	422	265		265	157	77	15	3	15	1	19		3	14	10
小出管内	321	216	1	215	105	47	39		19						
鶴嶺管内	185	113		113	72	25	28		1	1				17	
松林管内	457	253		253	204	102	70		3	3	1	5	8	7	5
海岸管内	377	203	4	199	174	89	40	8	29					8	

公設防火水槽現有数

平成21年度

容量 / 管区	合計	基準外			基準内			
		計	10～19 m^3	20～39 m^3	計	40～59 m^3	60～99 m^3	100以上 m^3
合計	215	37	5	32	178	144	10	24
本署管区	58	6	1	5	52	44	4	4
小和田管区	28	3		3	25	21		4
小出管区	46	17	2	15	29	26	2	1
鶴嶺管区	15				15	11		4
松林管区	41	10	2	8	31	25	1	5
海岸管区	27	1		1	26	17	3	6

車両配置別内訳

平成22年4月1日現在

種別	総数	本部	本署	小和田出張所	小出出張所	鶴嶺出張所	松林出張所	海岸出張所	備考
消防ポンプ自動車	6		1	1	1	1	1	1	
非常用消防ポンプ自動車	2			1		1			
水槽付消防ポンプ自動車	2		1				1		
指揮車	1		1						
化学消防車	1		1						
梯子付消防自動車	2		1					1	
救助工作車	2		1					1	
高規格救急自動車	6		1	1	1	1	1	1	
非常用高規格救急自動車	1		1						
資機材搬送車	2	1						1	
特殊災害対応自動車	1		1						
人員搬送車	1		1						
広報車	4	4							
緊急車両以外の車両	5	3	1					1	
合計	36	8	11	3	2	3	3	6	

車両別内訳（常備）

平成22年4月1日現在

配置		種別	名称	シャシメーカー	車両総重量(kg)	購入年度	登録番号	緊急車両登録	備考
消防本部	消防総務課	乗用車	ー	トヨタ	1,695	H10	湘南300さ3279	ー	H20 本庁より転活
		連絡車	ー	ホンダ	1,515	H15	湘南501す8674	ー	
	予防課	軽査察車	ー	スバル	1,350	H10	湘南40 か 8453	ー	
		広報車	予防1	ニッサン	3,085	H19	湘南800す4525	○	
	救命課		救命1	ニッサン	2,450	H18	湘南800す3350	○	
	警防課		警防1	ニッサン	2,480	H18	湘南800す3351	○	
			警防2	ニッサン	1,715	H18	湘南800す3374	○	
		資機材搬送車	警防資機材1	三菱	6,045	H19	湘南800す4243	○	
消防署	指導課	人員搬送車	指導1	ニッサン	2,190	H7	湘南88 さ 1147	○	
		軽自動車	ー	ニッサン	1,390	H21	湘南480か7078	ー	
	本署	指揮車	指揮1	トヨタ	3,150	H11	湘南800さ3652	○	
		消防ポンプ自動車	本署1	イスズ	5,290	H8	湘南88さ3547	○	
		水槽付消防ポンプ自動車	本署2	日野	9,405	H18	湘南800 は 448	○	
		化学消防車	化学1	イスズ	10,205	H9	湘南88 な 247	○	
		35m梯子付消防自動車	梯子1	ニッサン	19,870	H15	湘南830 は 119	○	
		救助工作車	救助1	日野	10,685	H18	湘南800 は 451	○	緊急消防援助隊登録車両
		高規格救急自動車	本署救急1	トヨタ	3,135	H18	湘南800す4621	○	
			救急3	トヨタ	2,875	H13	湘南800さ7015	○	非常用車両
		特殊災害対応自動車	ー	日野	7,145	H21	湘南800す6033	○	
	小和田出張所	消防ポンプ自動車	小和田1	日野	5,885	H21	湘南800す5887	○	消防ポンプ付救助自動車
			小和田2	三菱	6,940	H18	湘南800す3801	○	非常用車両
		高規格救急自動車	小和田救急1	トヨタ	3,015	H17	湘南800す2805	○	
	小出出張所	消防ポンプ自動車	小出1	イスズ	5,290	H8	湘南88 さ 3548	○	
		高規格救急自動車	小出救急1	トヨタ	3,015	H16	湘南830 す 99	○	
	鶴嶺出張所	消防ポンプ自動車	鶴嶺1	日野	6,600	H13	湘南800さ6970	○	
			鶴嶺2	三菱	4,480	H6	湘南88 さ 538	○	非常用車両
		高規格救急自動車	鶴嶺救急1	ニッサン	3,235	H21	湘南800す5834	○	緊急消防援助隊登録車両
	松林出張所	消防ポンプ自動車	松林1	日野	6,640	H20	湘南800す5318	○	
		水槽付消防ポンプ自動車	松林2	三菱	9,195	H17	湘南800 は 370	○	緊急消防援助隊登録車両
		高規格救急自動車	松林救急1	トヨタ	3,135	H20	湘南800す5270	○	
	海岸出張所	消防ポンプ自動車	海岸1	三菱	6,570	H14	湘南800さ8933	○	緊急消防援助隊登録車両
		水難救助工作車	水難1	イスズ	7,840	H6	湘南88 さ 435	○	
		25m屈折梯子付消防ポンプ自動車	屈折1	三菱	17,610	H3	相模88 な 3404	○	
		資機材搬送車	水難2	ホンダ	1,485	H13	湘南800さ7025	○	水上オートバイ用トレーラーを牽引
		水上オートバイ用トレーラー	－	ホンダ	460	H13	湘南80 を 323	ー	
		高規格救急自動車	海岸救急1	ニッサン	3,325	H15	湘南800 す 546	○	

通信

有線系

名　　称	内　　容
総合指令台	自動出動指定装置CRT・地図検索装置CRT
火災救急専用電話 119及び119番FAX	茅ヶ崎局系・松林局系（10回線）
指令室専用FAX	85－1112（1回線）
一般加入電話	85－4591（23回線）
テレドーム（火災情報）	0180－99－4591（1回線）
テレフォンダイヤル（救急情報）	85－0119（3回線）
指令専用回線	小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸出張所（5回線）
ワンタッチ	警察署・他関係各機関（500回線）
県救急医療情報装置	端末（1台）
地域気象情報装置	端末（1台）
県防災FAX（有線系）	FAX←市役所←県庁
防災専用電話機	通信指令室（1回線）
不在時対応電話	小和田・小出・鶴嶺・松林・海岸（5回線）

無線系

名　　称	内　　容
無線	全国波（全共1・2・3）・県内波
無線統制台基地局（ちがさきしょうぼう）	市内波・救急波
市防災行政用無線	遠隔制御器→市役所
県防災FAX（無線系）	FAX←市役所←県庁

無線系　移動局

無線番号	車両名等
茅ヶ崎本署　1	第1小隊
茅ヶ崎本署　2	第2小隊
茅ヶ崎小和田1	小和田小隊
茅ヶ崎鶴嶺　1	鶴嶺小隊
茅ヶ崎小和田2	小和田小隊
茅ヶ崎海岸　1	海岸小隊
茅ヶ崎小出　1	小出小隊
茅ヶ崎鶴嶺　2	鶴嶺小隊
茅ヶ崎松林　1	松林小隊
茅ヶ崎松林　2	松林小隊
茅ヶ崎救助　1	救助工作車
茅ヶ崎水難　1	救助工作車
茅ヶ崎屈折　1	屈折梯子車25m
茅ヶ崎梯子　1	梯子車35m
茅ヶ崎化学　1	化学車
茅ヶ崎指揮　1	調査班
茅ヶ崎警防　1	広報車
茅ヶ崎予防　1	広報車
茅ヶ崎指導　1	人員搬送車
茅ヶ崎警防　2	広報車

無線番号	車両名等
茅ヶ崎救命1	広報車
茅ヶ崎警防資機材 1	資機材搬送車
茅ヶ崎水難 2	資機材搬送車
茅ヶ崎本署救急 1	本署救急小隊
茅ヶ崎松林救急 1	松林救急小隊
茅ヶ崎小和田救急 1	小和田救急小隊
茅ヶ崎鶴嶺救急 1	鶴嶺救急小隊
茅ヶ崎海岸救急 1	海岸救急小隊
茅ヶ崎小出救急1	小出救急小隊
茅ヶ崎救急 3	予備車
茅ヶ崎指令 1 ↓ 茅ヶ崎指令 9	可搬型無線機
茅ヶ崎警防携帯 1 ↓ 茅ヶ崎小出救急携帯 1	携帯型無線機
茅ヶ崎　201 ↓ 231	消防団

主な消防用資機材一覧

積載車両	種別	品名
救助工作車	一般救助器具	かぎ付き梯子
		三連梯子
		ワイヤー梯子
		救命索発射銃
		サイバースリング
		平担架
		ロープ
		カラビナ
		滑車
	重量物排除用器具	油圧ジャッキ
		油圧スプレッダー
		可搬ウィンチ
		ワイヤーロープ
		マンホール救助器具
		マット式空気ジャッキ
		救助用支柱器具
	破壊用器具	破壊斧
		ハンマー
		削岩機
		ハンマードリル
	切断用器具	油圧切断機
		エンジンカッター
		ガス溶断機
		チェーンソー
		鉄線カッター
		空気鋸
	呼吸・隊員用保護用器具	空気呼吸器
		送排風機
		革手袋
		安全帯
		防塵メガネ
		携帯警報器
	検知測定用器具	可燃性ガス測定器

積載車両	種別	品名
救助工作車	その他の救助用器具	投光器一式
		携帯投光器
		携帯拡声器
		携帯無線機
		応急処置用セット
		緩降機
水難救助工作車	水難救助器具	潜水器具一式
		救命胴衣
		水中投光器
		救命浮環
		浮標
		救命ボート
		船外機
		水中スクーター
		水中無線機
		水中時計
		水中カメラ
高規格救急自動車	高度救命処置用資機材	半自動除細動器
		輸液ポンプ
		人工呼吸器
		吸引器
		酸素吸入器
		メインストレッチャー
		スクープストレッチャー
		バックボード
		車載用FAX
		心電図伝送装置
		ベッドサイドモニター
		血中酸素飽和度測定器
		屋内塗装用自動噴霧器

防　災　対　策

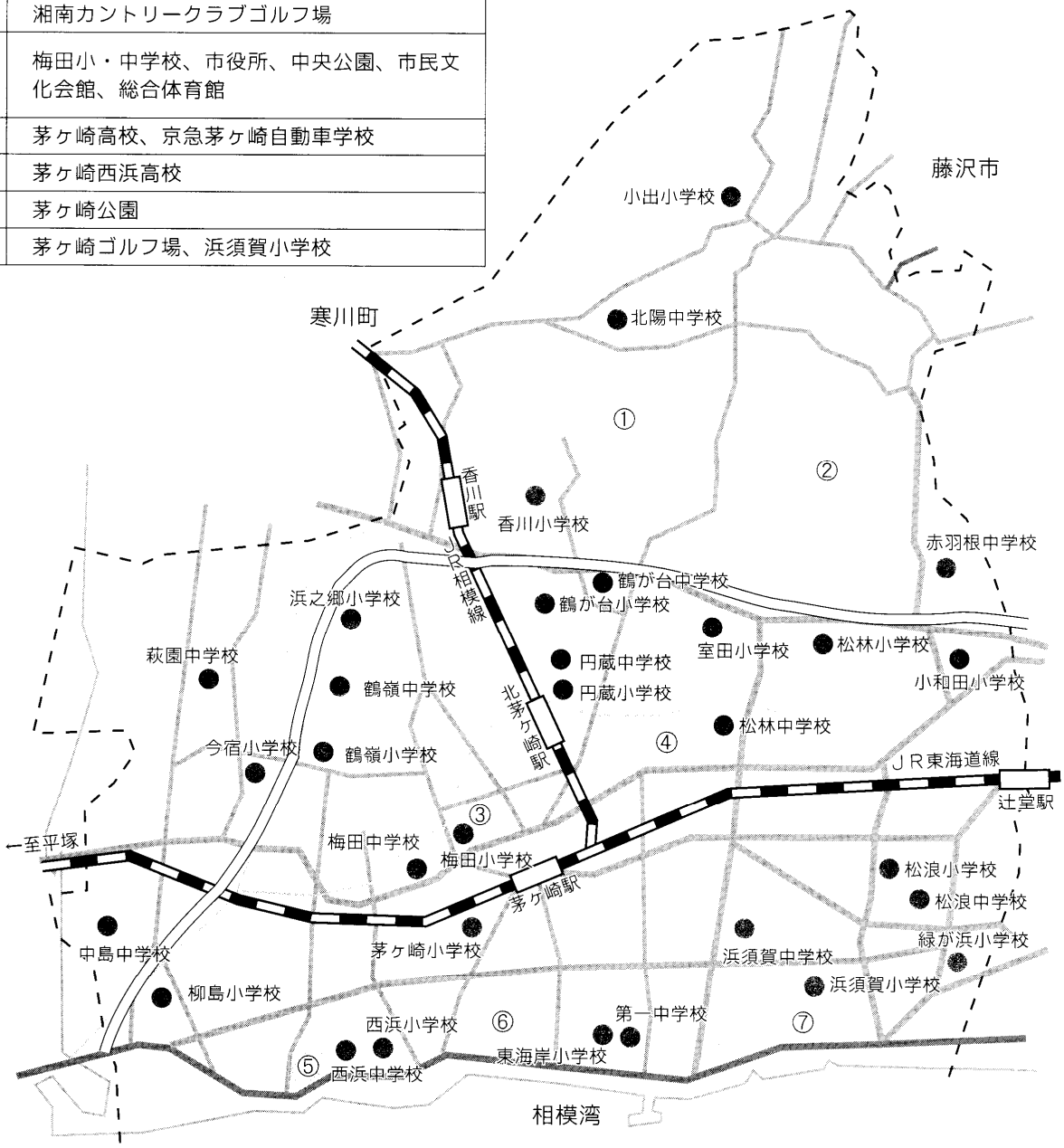
平成２１年度防災リーダー養成研修会

MEMO

広域避難場所・避難所位置図

地震による延焼火災から身を守るため避難する場所

番号	名　　称
①	スリーハンドレッドクラブゴルフ場
②	湘南カントリークラブゴルフ場
③	梅田小・中学校、市役所、中央公園、市民文化会館、総合体育館
④	茅ヶ崎高校、京急茅ヶ崎自動車学校
⑤	茅ヶ崎西浜高校
⑥	茅ヶ崎公園
⑦	茅ヶ崎ゴルフ場、浜須賀小学校



●避難所（地区防災拠点）

災害時の避難、救護、情報の拠点及び住宅が被害を受け居住の場を失った人が避難生活をする場として市内の公立小学校１８校、公立中学校１３校を避難所（地区防災拠点）に指定しています。また、避難所のうち中学校は、医療救護所を兼ねています。

災害用耐震性プール

（平成22年3月31日現在）

設置場所	貯水量(m³)	設置場所	貯水量(m³)	設置場所	貯水量(m³)
茅ヶ崎小学校	335	小和田小学校	325	赤羽根中学校	390
鶴嶺小学校	337	円蔵小学校	345	萩園中学校	390
松林小学校	384	今宿小学校	345	県立茅ヶ崎高校	516
西浜小学校	347	室田小学校	345	県立茅ヶ崎北陵高校	450
小出小学校	425	東海岸小学校	193	県立鶴嶺高校	400
松浪小学校	345	浜之郷小学校	345	殿山公園	520
梅田小学校	332	緑が浜小学校	291	小和田浜公園	290
香川小学校	337	第一中学校	393	屋内温水プール	350
浜須賀小学校	345	鶴嶺中学校	393	湘南スイミングスクール	300
鶴が台小学校	345	松林中学校	393	林水泳教室	300
柳島小学校	345	西浜中学校	390	合計	11,541

飲料水兼用貯水槽

（平成22年3月31日現在）

区分／年度	設置場所	設置数	水槽容量	区分／年度	設置場所	設置数	水槽容量
平成元年度	中央公園	1	100m³	平成5年度	茅ヶ崎公園野球場	1	100m³
2年度	浜須賀中学校	1	〃	6年度	浜之郷公園	1	〃
3年度	萩園中学校	1	〃	8年度	西浜中学校	1	〃
4年度	東小和田公園	1	〃	12年度	緑が浜小学校	1	〃
				合計		8	800m³

防 災 無 線

戸別受信機　292台
地域防災無線 基　地　局　1台
中　継　局　1台
陸上移動局 83台

屋外拡声子局地区別設置数

地区名	茅ヶ崎地区	南湖地区	海岸地区	鶴嶺東地区	鶴嶺西地区	湘南地区	松林地区	湘北地区	小和田地区	松浪地区	浜須賀地区	小出地区	合計
設置数（基）	10	6	8	13	9	9	12	9	3	10	6	19	114

防災備蓄倉庫設置状況

・防災倉庫　　40カ所
（市総合体育館・茅ヶ崎公園野球場・消防本部・市役所・中央公園・小出皆楽荘）

・防災コンテナ倉庫等 42カ所
（小学校18校・中学校13校・高等学校5校・小出暫定広場・消防小和田出張所・消防小出出張所・TOTO株式会社茅ヶ崎工場・宮田工業株式会社・社会福祉法人翔の会「空と海」）

防災備蓄倉庫備蓄状況

（平成22年3月31日現在）

資機材名	数量	備考	資機材名	数量	備考
ろ水機	64	市40＋学校24（プール）	毛布	16,852	
給水ポンプ	13	飲料水兼用貯水槽	掛矢	124	径165mm
給水タンク	6	1m³用2 ・ 0．5m³用4	スコップ	91	
炊飯器	42	プロパンガス まき兼用	金テコ棒	164	六角1，500mm
テント	39		ノコギリ	163	先丸360mm
シート	438	ビニールシート 3．6m×5．4m	担架	225	白帆布
ゴザ	336	6畳用ビニール製	ツルハシ	73	

研修・訓練

平成21年度

種別 / 地区別		実技・研修回数	実技	研修	防災講話	消火器取扱	救急救助訓練	起震車体験	防災映画ビデオ	給食給水	情報伝達	避難誘導	資機材取扱い	その他
全体合計（189回）		30	16	14	15	14	15	10	5	13	2	13	14	13
連合会名	茅ヶ崎地区	3	2	1	1	2	2	2		2		2	2	2
	南湖地区	2	1	1	1	1	1	1		1		1	1	1
	海岸地区	2		2	2									
	鶴嶺東地区	2	1	1	1	1	1	1		1		1	1	1
	鶴嶺西地区	2	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1
	湘南地区	1	1			1	1	1		1	1	1	1	1
	松林地区	5	3	2	2	3	3	1		1		1	2	1
	湘北地区	1	1			1	1			1		1	1	1
	小和田地区	2	2			1	1	1	1	2		1	1	1
	松浪地区	2	1	1	1	1	1	1	2	1		1	1	1
	浜須賀地区	1	1		1	1	1			1	1	1	1	1
	小出地区	1	1			1	1	1		1		1	1	1
事業所		1	1				1			1		1	1	1
学校・PTA		4		4	4				1					
少年少女・女性消防隊等		0												
市民祭り等		0												
その他		1		1	1									
延べ参加人員		6,476人												

曜日別実施状況

曜日	実施回数
日	11
月	1
火	1
水	3
木	2
金	1
土	10
合計	29

※ 実質計は、一度に2種類以上の訓練を行っても1回とした実数である。

※ 曜日別実施回数は、2日間に渡り実施した総合防災訓練について、それぞれ1日ずつ回数に含んでいる。

地震対策用街頭消火器設置状況　（昭和53年度～平成21年度）

地区別 / 区分	茅ヶ崎地区	南湖地区	海岸地区	鶴嶺東地区	鶴嶺西地区	湘南地区	松林地区	湘北地区	小和田地区	松浪地区	浜須賀地区	小出地区	合計
自治会数	21	6	13	8	10	9	10	7	5	14	11	17	131
昭和53～平成20年度	356	146	301	342	169	144	256	207	122	265	159	231	2,698
平成21年度	△ 4	0	△ 2	△ 4	△ 2	0	△ 3	0	△ 2	△ 1	△ 2	△ 1	△ 21
合計	352	146	299	338	167	144	253	207	120	264	157	230	2,677

自主防災組織

各連合会地域内自主防災組織（131組織）　　平成21年度

茅ヶ崎地区連合会〔22〕

本町第一
本町第二
若松町幸
本町第四
茅ヶ崎グリーンハイツ
パークタウン茅ヶ崎
パークタウン茅ヶ崎第二
元町第一
元町第二
新栄町第一
新栄町第二
共恵中央
共恵東
幸町
十間坂
共恵海岸通り
矢畑南
ニューライフ
茅ヶ崎グランドハイツ
藤和茅ヶ崎ハイタウン
藤和ハイタウン湘南茅ヶ崎
電源開発茅ヶ崎社宅親睦会

南湖地区連合会〔6〕

茶屋町
鳥井戸
上町
中町
下町
新南湖

海岸地区連合会〔13〕

東海岸北一丁目
東海岸北二丁目
東海岸北三丁目
東海岸北四丁目
東海岸北五丁目
東海岸南一丁目
東海岸南二丁目
東海岸南三丁目
東海岸南四丁目
東海岸南五丁目
東海岸南六丁目
中海岸
パシフィックガーデン茅ヶ崎

鶴嶺東地区連合会〔8〕

円蔵
矢畑
西久保
浜之郷
下町屋
TBS
サニータウン茅ヶ崎
ホームタウン

鶴嶺西地区連合会〔9〕

萩園
新田
今宿
今宿グリーンハイム
コスモ茅ヶ崎プレシオ
萩園サンハイム
ファミール茅ヶ崎
第一ハイツ茅ヶ崎
ライオンズマンション茅ヶ崎第三
リステージ茅ヶ崎ツインマークス

湘南地区連合会〔9〕

中島
柳島
松尾
浜見平団地
松風
茅ヶ崎ガーデンハウス
エクシード茅ヶ崎
ベルパーク湘南茅ヶ崎
グランヴァーグ茅ヶ崎

松林地区連合会〔10〕

菱沼
室田
上赤羽根
中赤羽根
下赤羽根
高田
ニュータウン茅ヶ崎
ショクサンビラ
プランヴェール湘南茅ヶ崎
オクトス湘南茅ヶ崎

湘北地区連合会〔7〕

甘沼
香川
松風台
鶴が台団地
鶴が台（一）
ライトタウン茅ヶ崎
みずき

小和田地区連合会〔5〕

新宿
本宿
赤松町
赤松
菱沼小和田

松浪地区連合会〔14〕

浜竹一丁目
浜竹二丁目
浜竹三丁目
浜竹四丁目
松浪一丁目
松浪二丁目
富士見町
LG富士見町
常盤町
緑が浜
汐見台
出口町
ひばりが丘
美住町

浜須賀地区連合会〔11〕

三が丘
菱沼南部
菱沼海岸緑
平和町
松浜
浜須賀
浜須賀住宅
翠松会
菱沼海岸
松涛会
松が丘ハイツ

小出地区連合会〔17〕

堤上
堤下
下寺尾
行谷
芹沢西部
芹沢久組
芹沢中部
芹沢東部
二本松
八王子原
芹沢ひかりが丘
芹沢清水台
湘南ライフタウンB
湘南ライフタウンF
羽根沢第一住宅
やよい会
芹沢細谷紺谷村

自然災害状況

平成21年　　月別累計降水量

月	雨量　mm
1	149
2	68
3	96
4	137
5	156
6	159
7	151.5
8	214
9	49.5
10	185.5
11	163.5
12	69
21年計	1,598.0

平成21年中

５０㎜以上の降水量を記録した日

月日	雨量　mm
1月31日	50
4月14日	53
8月10日	110
10月8日	72.5
11月11日	97

（警防課調べ、観測点消防本部）

平成10年～平成21年　　年度別降水量

年	雨量　mm
10年	1,781.0
11年	1,407.0
12年	1,441.0
13年	1,389.5
14年	1,508.0
15年	1,950.5
16年	1,832.0
17年	1,325.5
18年	1,584.0
19年	1,348.0
２０年	1,819.5
２１年	1,598.0

MEMO

消　防　団

女性消防分団発足式（平成２２年４月）

MEMO

消防団のあゆみ

Ｍ２８．　３．　－　県令（明治27年5月県令第20号消防組設置）茅ヶ崎村に茅ヶ崎消防組を置き組頭1人、小頭8人、消防手187人を定員として組織する。
４３．　１．　－　茅ヶ崎町本村他7部落に消防隊が組織される。
Ｓ１４．　４．　１　勅令により「警防団令」が公布施行され、消防組を「警防団」に改める。
２２．　５．　－　勅令により「消防団令」が公布施行され、警防団を「消防団」に改める。
29分団、　定員1，207人をもって茅ヶ崎町消防団が発足する。
７．　１　中川文次郎氏　初代消防団長に就任
１０．　１　市制の施行（人口43，315人、戸数9，055戸）
２４．　５．３１　中川文次郎氏勇退
６．　１　青木耕太郎氏　2代消防団長に就任
３０．　１．１０　青木耕太郎氏勇退
１．１１　小島芳太郎氏　3代消防団長に就任
－　－　新町分団第5回消防ポンプ操法大会に出場（武藤良策分団長）
３１．　３．　１　分団数33（行谷・下寺尾の分離）定数・人員757人
３１．　香川分団第6回消防ポンプ操法大会に出場（熊沢音吉分団長）
３２．　下寺尾、下赤分団第7回消防ポンプ操法大会に出場（古知谷善太郎・城田良之分団長）
３３．　十間坂、芹沢分団第8回消防ポンプ操法大会に出場（石坂圭二・田代忠正分団長）
３４．　下町屋、小和田分団第9回消防ポンプ操法大会に出場（内藤　興・程島音次分団長）
３５．　新町、西久保分団第10回消防ポンプ操法大会に出場（小川一巳・岩澤博徳分団長）
３６．　東海岸、甘沼分団第11回消防ポンプ操法大会に出場（竹村光雄・沼上利夫分団長）
３７．　３．　７　生川伊佐雄氏　黄綬褒章を受章
十間坂、高田分団第12回消防ポンプ操法大会に出場（長島藤吉・中田一三分団長）
３８．　３．３１　小島芳太郎氏勇退
４．　１　武藤良策氏　4代消防団長に就任
今宿分団第13回消防ポンプ操法大会に出場（森　幸司分団長）
３９．　新町、円蔵分団第14回消防ポンプ操法大会に出場（野崎金平・高橋庄平分団長）
４０．　室田分団第15回消防ポンプ操法大会に出場　（島崎　寛分団長）
４１．　本村分団第16回消防ポンプ操法大会に出場（石井基陽分団長）
４２．　十間坂、萩園分団第17回消防ポンプ操法大会に出場（河内真一・

小池範之分団長）
４３．　菱沼分団第18回消防ポンプ操法大会に出場（高橋正光分団長）
４４．　３．３１　武藤良策氏勇退
４．　１　角田年正氏　5代消防団長に就任
堤分団第19回消防ポンプ操法大会に出場（岡本良雄分団長）
４５．　新町、下町分団第20回消防ポンプ操法大会に出場（真壁利夫・青木賢治分団長）
４６．　茶鳥分団第21回消防ポンプ操法大会に出場 (岸　市郎分団長)
４７．　堤分団第22回消防ポンプ操法大会に出場 (本間鋭朗分団長)
４８．　４．　１　消防分団の整備統合を計り、33個分団とし、字であった分団名を1～18分団と改める。
分団数18、団員定数449人、実員423人
第12分団第23回消防ポンプ操法大会に出場 (堤　嘉彰分団長）
４９．　７．　６　（財）神奈川県消防協会茅ヶ崎支部の発足
第11分団第24回消防ポンプ操法大会に出場 (山口光男分団長)
５０．　第14分団第25回消防ポンプ操法大会に出場 (細井克悦分団長)
５１．　４．　１　分団数20、団員定数399人、実員383人
(第17，18分団から第19分団一行谷、下寺尾分団が独立、第2分団から第20分団一東海岸･中海岸が独立)
第16分団第26回消防ポンプ操法大会に出場　(沼上 優分団長）
５２．　第6分団第27回消防ポンプ操法大会に出場 (小室康夫分団長）
８．１０　小型動力ポンプ付積載車を分団に配置 [日本消防協会より寄贈]
５３．　第8分団第28回消防ポンプ操法大会に出場 (内藤徳三郎分団長)
５４．　４．　１　分団数21、団員定数399人、実員381人(第7分団から第21分団矢畑が独立)
第12分団第29回消防ポンプ操法大会に出場 (青柳一夫分団長)
１２．１５　分団車両に無線機を設置開始　初年度10基
５５．　８．　第7分団器具置場建設
１１．１２　互助会の発足
第10分団第30回消防操法大会に出場　(森　育雄分団長)
５６．　第20分団第31回消防ポンプ操法大会に出場　(田中晴男分団長)
７．２９　小型動力ポンプ付積載車を本団に配置　[日本消防協会より寄贈]
５７．　第21分団第32回消防ポンプ操法大会に出場 (梅沢初雄分団長)
５８．　９．　第17分団器具置場建設
第17分団第33回消防ポンプ操法大会出場 (廣瀬康男分団長)
５９．　４．２９　角田年正氏　藍綬褒章を受章
第3分団第34回消防ポンプ操法大会に出場 (眞壁育英分団長)
６１．　第2分団第35回消防ポンプ操法大会に出場 (野崎重利分団長)
１２．　第6分団、第14分団（上赤）器具置場建設
６３．　２．　第15分団（下赤）器具置場建設

	８．	第1分団第36回消防ポンプ操法大会に出場（戸井田五郎分団長)
Ｈ　元.	１．	第5分団（下町）器具置場建設
２．	３．	第16分団（香川）器具置場建設
	７．	第2分団第37回消防ポンプ操法大会に出場 (小川亮一分団長)
３．	３．	第2分団、第10分団（今宿）器具置場建設
４．	３．	第12分団、第19分団（下寺尾）器具置場建設
	３．３１	角田年正氏勇退
	４．　１	水谷直吉氏　6代消防団長に就任
	７．３０	第3分団第38回消防ポンプ操法大会に出場 (石田忠勝分団長)
５．	３．	第3分団（十間坂）・第18分団（芹沢）器具置場建設
６．	３．１７	第1分団（本村）・第8分団（浜之郷）器具置場建設
	７．２８	第4分団第39回消防操法大会に出場 (宮田正分団長)
７．	３．１２	第21分団（矢畑）器具置場建設
	３．２６	第9分団（萩園）器具置場建設
８．	３．１５	第8分団（浜之郷）器具置場建設
	７．２５	第5分団第40回消防ポンプ操法大会に出場 (中村勝分団長)
９．	３．１４	第10分団（中島）、第20分団（東海岸・中海岸）器具置場建設
１０．	３．　７	消防庁長官表彰旗授与
	３．１８	第5分団（仲町）、第11分団（松尾）器具置場建設
	７．２９	第6分団第41回消防ポンプ操法大会に出場 (南条春雄分団長)
１１．	３．１６	第9分団（新田）・第17分団（堤）器具置場建設
１２．	３．１７	第15分団（高田）器具置場建設
	７．２６	第7分団第42回消防ポンプ操法大会に出場（鈴木正之分団長）
１４．	３．３０	第16分団（甘沼）器具置場建設
	７．２４	第8分団第43回消防ポンプ操法大会に出場（佐野茂分団長）
１５．	２．２１	第13分団（菱沼）器具置場建設
	９．　３	第19分団（行谷）器具置場建設
１６．	３．３１	水谷直吉氏勇退
	４．　１	小澤嘉平氏　7代消防団長に就任
	７．２８	第9分団　第44回消防ポンプ操法大会に出場（峰尾久徳分団長）
１８．	７．２６	第10分団　第45回消防ポンプ操法大会に出場（森毅彦分団長）
１９．	２．１８	多機能型車両　第9分団（萩園）に配置（日本消防協会より寄贈）
２０．	４．１８	第11分団（柳島）器具置場建設
２０．	７．３０	第11分団　第46回消防ポンプ操法大会に出場（内藤智和分団長）
２２．	３．１２	第2分団（新町）器具置場建設
	３．３１	小澤嘉平氏勇退
	４．　１	廣瀬康男氏　8代消防団長に就任
	４．１１	女性消防分団（第２２分団・２０人）発足式
		定員４２７人

歴 代 消 防 団 長

初代消防団長　中川文次郎　昭和２２年　７月　１日

２代消防団長　青木耕太郎　昭和２４年　６月　１日

３代消防団長　小島芳太郎　昭和３０年　１月１１日

４代消防団長　武藤　良策　昭和３８年　４月　１日

５代消防団長　角田　年正　昭和４４年　４月　１日

６代消防団長　水谷　直吉　平成　４年　４月　１日

７代消防団長　小澤　嘉平　平成１６年　４月　１日

８代消防団長　廣瀬　康男　平成２２年　４月　１日（現職）

消 防 団 員 叙 位 ・ 叙 勲 者

受章年月日	氏名	勲等別
昭和３８年　４月２９日	米　山　清　一	勲六等瑞宝章
昭和５９年１１月　３日	小　川　一　巳	勲七等青色桐葉章
平成　３年１１月　３日	大　関　耕　吉	勲六等単光旭日章
平成　４年１１月　３日 （平成８年１２月２３日　従六位）	角　田　年　正	勲五等双光旭日章
平成　８年１１月　３日	本　間　鋭　朗	勲六等単光旭日章
平成１０年　６月　６日	吉　野　　博	勲六等単光旭日章
平成１６年　７月１６日	河　内　真　一	瑞宝単光章
平成１７年　４月２９日	水　谷　直　吉	瑞宝双光章

平成２０年１１月　６日　　森　　育　雄　　瑞宝単光章

消防団の概要

団員数とポンプ・車両数

平成22年4月1日現在

区分 / 分団別管轄区域		合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	専用積載車
合計		417	1	4	3	22	22	35	70	260	5	27	26
本部		8	1	4	3								
第1分団	本村	14				1	1	1	2	9		1	1
第2分団	新町	15				1	1	1	2	10	1		
第3分団	十間坂	15				1	1	1	2	10	1		
第4分団	上町 茶鳥	20				1	1	2	4	12		2	1
第5分団	仲町 下町	21				1	1	2	4	13		2	2
第6分団	円蔵	15				1	1	1	2	10		1	1
第7分団	西久保	15				1	1	1	2	10		1	1
第8分団	下町屋 浜之郷	19				1	1	2	4	11		2	2
第9分団	萩園 新田	19				1	1	2	4	11		2	2
第10分団	中島 今宿	21				1	1	2	4	13		2	2
第11分団	柳島 松尾	27				1	1	2	4	19		2	2
第12分団	小和田	20				1	1	2	4	12	1		
第13分団	菱沼 室田	20				1	1	2	4	12		2	2
第14分団	上赤 中赤	20				1	1	2	4	12		2	2
第15分団	下赤 高田	24				1	1	2	4	16		2	2
第16分団	甘沼 香川	23				1	1	2	4	15		2	2
第17分団	堤	15				1	1	1	2	10	1		
第18分団	芹沢	15				1	1	1	2	10	1		
第19分団	下寺尾 行谷	18				1	1	2	4	10		2	2
第20分団	東海岸 中海岸	20				1	1	2	4	12		1	1
第21分団	矢畑	13				1	1	1	2	8		1	1
第22分団	－	20				1	1	1	2	15			

車両別内訳（非常備）

平成22年4月1日現在

配置		種別	シャシ メーカー	車両総重量	購入年度	登録番号	定員	備考
分団名	地区名							
第2分団	新町	消防ポンプ自動車	三菱	4,370	H15	湘南800ち2	6	
第3分団	十間坂		三菱	4,350	H13	湘南800さ7611	6	
第12分団	小和田		三菱	4,830	H20	湘南800す5273	6	
第17分団	堤		イスズ	4,280	H10	湘南800さ1263	6	
第18分団	芹沢		三菱	4,850	H20	湘南830て18	6	
第5分団	仲町	小型動力ポンプ付 軽積載車	ダイハツ	1,300	H3	相模80あ412	4	
第9分団	新田		ダイハツ	1,320	H6	湘南80あ7	4	
第14分団	中赤		ダイハツ	1,300	H3	相模80あ413	4	
第19分団	行谷		スバル	1,280	H7	湘南80あ51	4	
第1分団	本村	小型動力ポンプ付 積載車	ニッサン	2,560	H5	相模88せ9970	8	
第4分団	上町		ニッサン	2,560	H6	湘南88さ619	8	
第5分団	下町		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ97	8	
第6分団	円蔵		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1265	8	
第7分団	西久保		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1266	8	
第8分団	浜之郷		ニッサン	2,560	H5	相模88せ9971	8	
	下町屋		ニッサン	2,780	H19	湘南800す4446	8	
第9分団	萩園		イスズ	3,810	H19	湘南800す4536	6	平成19年度日本消防協会より寄贈
第10分団	中島		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2639	8	
	今宿		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ98	8	
第11分団	柳島		ニッサン	2,550	H15	湘南800す619	6	
	松尾		ニッサン	2,760	H19	湘南800す4445	8	
第13分団	室田		ニッサン	2,540	H7	湘南88さ1264	8	
	菱沼		ニッサン	2,860	H20	湘南800す5123	8	
第14分団	上赤		ニッサン	2,560	H5	相模88せ9973	8	
第15分団	下赤		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ99	8	
	高田		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2640	8	
第16分団	香川		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ100	8	
	甘沼		ニッサン	2,640	H17	湘南800す2641	8	
第19分団	下寺尾		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ101	8	
第20分団	東海岸		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ102	8	
第21分団	矢畑		ニッサン	2,570	H6	湘南88さ103	8	

分団器具置場所在地

分団名	地区名	所在地
第1分団	本村	本村2－6298
第2分団	新町	新栄町5321-9
第3分団	十間坂	十間坂3－17－19
第4分団	上町	南湖3－4－40
	茶屋町・鳥井戸	南湖1－4－23
第5分団	仲町	南湖4－1－18
	下町	南湖5－5－1
第6分団	円蔵	円蔵2282
第7分団	西久保	西久保465
第8分団	下町屋	下町屋2－366－3
	浜之郷	浜之郷443
第9分団	萩園	萩園1716
	新田	新田80
第10分団	中島	中島1134
	今宿	今宿588－1
第11分団	柳島	柳島1－8－11
	松尾	松尾3－22
第12分団	小和田	代官町4－11
第13分団	菱沼	菱沼2－2－10
	室田	室田1－13
第14分団	上赤羽根	赤羽根2220
	中赤羽根	赤羽根807
第15分団	下赤羽根	赤羽根338
	高田	高田1－9－38
第16分団	甘沼	甘沼582－5
	香川	香川3－29－4
第17分団	提	提2381－1
第18分団	芹沢	芹沢1068
第19分団	下寺尾	下寺尾1213
	行谷	行谷435
第20分団	東海岸・中海岸	東海岸南2－3－41
第21分団	矢畑	矢畑580－9
第22分団	全地区	矢畑1280－3

分布図は 22 ページにあります。

災害出動　　H21年

区分 / 月別	合計			火災出動			風水害出動		
	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員	件数	分団数	人員
合計	43	92	1027	40	79	902	3	13	125
1月	6	22	231	5	16	161	1	6	70
2月	9	14	172	9	14	172			
3月	1	1	8	1	1	8			
4月	3	5	65	3	5	65			
5月	1	2	2	1	2	2			
6月	4	10	132	4	10	132			
7月	4	4	61	4	4	61			
8月	6	12	126	6	12	126			
9月	4	11	140	3	6	100	1	5	40
10月	2	8	61	1	6	46	1	2	15
11月	2	2	12	2	2	12			
12月	1	1	17	1	1	17			

勤続年数　　H22.4.1

階級別 / 勤続年数	合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	417	1	4	3	22	22	35	70	260
5年未満	112				1	1	1	7	102
5年以上～10年未満	108				2	6	12	25	63
10年以上～15年未満	91				11	11	11	26	32
15年以上～20年未満	52		1	1	1	2	10	8	29
20年以上～25年未満	32		1	1	6	2	1	3	18
25年以上～30年未満	16		1		1			1	13
30年以上～35年未満	4		1	1					2
35年以上	2	1							1
平均勤続年数	12.9	40.0	24.5	24.0	15.2	11.7	12.2	10.4	9.3

報酬額

H22.4.1

階級	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	運転手
手当（年額）	72,000	59,000	44,000	42,000	38,500	36,000	33,500	32,000	4,300

費用弁償額

H22.4.1

区分	支給単位		費用弁償額
	回数	時間	
火災、水害、訓練、警戒等の出場	1回	3時間未満	2,000
		3時間以上	3,600

研修・訓練

平成21年度

科目 / 回数・人員	合計	新入団員研修	訓練礼式	操法演技訓練	機関担当員研修	操法大会訓練	無線担当員研修	放水訓練	正副分団長研修	津波対策訓練	総合防災訓練	連合防災訓練	情報収集訓練
回数	18	1	1		1		1	4	1	1	1	7	
人員	1,061	19	270		95		92	319	48	37	21	160	

退団者

H21年度

階級 / 勤続年数	合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	27	1	2	0	6	1	0	2	15
5年未満	2							1	1
5年以上10年未満	2								2
10年以上15年未満	7				3			1	3
15年以上20年未満	5				1				4
20年以上25年未満	5	1			2				2
25年以上30年未満	2								2
30年以上	4		2			1			1

年齢

H22.4.1

年齢＼階級別	合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	417	1	4	3	22	22	35	70	260
20才未満	0								
20才以上～25才未満	3								3
25才以上～30才未満	34					2		1	31
30才以上～35才未満	69				1	2	2	11	53
35才以上～40才未満	86				2	5	10	27	42
40才以上～45才未満	103				9	7	15	13	59
45才以上～50才未満	73			1	6	5	3	13	45
50才以上～55才未満	28			1	4		5	3	15
55才以上～60才未満	15		3	1		1		1	9
60才以上	6	1	1					1	3
平均年齢	40.2	70.0	58.7	51.0	44.3	40.3	41.2	40.1	39.2

職業

H22.4.1

勤続年数＼階級別	合計	団長	副団長	本部付分団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
合計	417	1	4	3	22	22	35	70	260
卸売・小売業	55		2	1	4	3	9	7	29
製造業	58				1	3	2	11	41
建設業	90			1	7	3	6	12	61
農・漁業	35	1	2		1	4	3	7	17
サービス業	103				6	6	9	20	62
公務員	12				1		1	1	9
金融・保険業	6							3	3
運輸・通信業	19					1	1	1	16
電気・ガス・水道業	25			1	2	2	3	7	10
不動産業	1								1
その他（求職中）	13						1	1	11

団の定数・実員

年度	定数	実員	組織	各年4月1日現在		備考
				人口	世帯数	初代団長　中川文次郎
昭和24年	1,207	1,182	1団29分団	45,783	9,554	昭和20年1月11日から
25年	1,207	1,141	〃	47,815	9,901	昭和24年5月31日まで
26年	1,207	1,141	〃	48,909	10,191	4年4カ月
27年	863	863	〃	49,612	10,634	2代団長　青木耕太郎
28年	863	824	〃	50,674	10,765	昭和24年6月1日から
29年	863	824	〃	52,482	11,267	昭和30年1月10日まで
30年	839	839	1団32分団	56,895	11,849	5年7カ月
31年	757	757	1団33分団	59,034	12,438	
32年	757	757	〃	62,000	13,433	
33年	757	694	〃	62,992	13,767	3代団長　小島芳太郎
34年	685	667	〃	65,149	14,441	昭和30年1月11日から
35年	669	589	〃	70,090	15,871	昭和38年3月31日まで
36年	589	589	〃	71,592	16,594	8年2カ月
37年	589	515	〃	74,801	17,773	
38年	518	497	〃	78,420	19,436	
39年	518	501	〃	90,130	23,616	
40年	518	496	〃	100,078	25,525	4代団長　武藤良策
41年	518	502	〃	105,211	27,007	昭和38年4月1日から
42年	518	504	〃	111,462	28,671	昭和44年3月31日まで
43年	518	511	〃	121,946	32,374	6年
44年	518	506	〃	126,160	34,051	
45年	518	499	〃	130,570	35,820	
46年	518	498	〃	135,686	37,775	
47年	518	501	〃	140,063	39,459	
48年	449	423	1団18分団	144,552	41,152	
49年	449	404	〃	148,922	42,751	
50年	399	384	〃	152,024	43,536	
51年	399	383	1団20分団	157,175	45,129	
52年	399	379	〃	162,762	46,900	
53年	399	382	〃	166,141	48,075	
54年	399	381	1団21分団	169,746	49,351	5代団長　角田年正
55年	407	382	〃	172,381	52,357	昭和44年4月1日から
56年	407	384	〃	175,727	53,677	平成4年3月31日まで
57年	407	384	〃	178,901	55,021	23年
58年	407	386	〃	179,918	55,572	
59年	407	386	〃	181,476	55,972	
60年	407	388	〃	183,140	57,071	
61年	407	388	〃	186,137	57,937	
62年	407	384	〃	190,264	59,864	
63年	407	387	〃	194,764	63,053	
平成元年	407	385	〃	197,016	63,851	
2年	407	385	〃	200,511	65,880	
3年	407	385	〃	202,553	68,148	
4年	407	386	〃	205,099	69,870	
5年	407	384	〃	207,944	71,627	
6年	407	386	〃	210,282	72,670	
7年	407	395	〃	212,821	74,322	
8年	407	398	〃	212,732	74,335	
9年	407	400	〃	214,727	76,018	6代団長　水谷直吉
10年	407	402	〃	216,484	77,603	平成4年4月1日から
11年	407	402	〃	217,953	79,068	平成16年3月31日まで
12年	407	405	〃	219,828	80,736	12年
13年	407	403	〃	222,796	84,111	
14年	407	400	〃	222,945	83,056	
15年	407	401	〃	224,847	84,725	
16年	407	402	〃	226,858	86,532	7代団長　小澤嘉平
17年	407	402	〃	228,014	87,785	平成16年4月1日から
18年	407	405	〃	228,342	88,532	平成22年3月31日まで
19年	407	403	〃	229,382	89,867	6年
20年	407	400	〃	231,031	91,258	
21年	407	399	〃	233,240	92,874	8代団長　廣瀬　康男
22年	427	417	1団22分団	234,412	93,933	平成22年4月1日から

防災資器材

大規模災害時等に対応するため、救助、救護資機材（発電照明器具、手工具等）を、消防分団器具置場32か所に配備しています。

配備防災資器材一覧

1	発電機付照明装置	14	金てこ
2	破壊器具	15	防水シート
3	折りたたみリヤカー	16	ワイヤー
4	ジャッキ	17	鉄のこぎり
5	可搬式ウインチ	18	万能はさみ
6	チェーンブロック	19	ハンドマイク
7	かけや	20	毛布
8	つるはし	21	カラビナ
9	のこぎり	22	救助ロープ
10	ハンマー	23	災害活動用厨房セット
11	剣先スコップ	24	担架
12	鉄線鋏	25	簡易トイレ
13	バール		

MEMO

火災統計

一般住宅火災

MEMO

火　災

用語の意義

この資料の用語は、「火災報告取扱要領」に基づきます。

＊　火災の定義　＊

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

1　火災件数

「１件の火災」とは、一つの出火点から拡大したもので、出火に始まり鎮火するまでをいう。

2　火災の種別

火災とは、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が２以上複合するときは、焼き損害額の大なるものの種別とする。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でないと認められるときはこの限りでない。

（1）建　物　火　災　建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
（2）林　野　火　災　森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
（3）車　両　火　災　自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
（4）船　舶　火　災　船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
（5）航 空 機 火 災　航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
（6）そ の 他 の 火 災　（1）～（5）までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

3　爆　　発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

4　覚知方法

消防機関が火災を覚知した方法をいい次の分類による。

（1）火災報知専用番号：NTT加入電話を除く（2）火災報知専用番号：NTT加入電話
（3）火災報知専用番号：携帯電話から（4）加入電話：固定電話から
（5）加入電話：携帯電話から（6）警察電話（7）駆け付け通報　（8）事後聞知
（9）その他

5　焼損の程度区分

（1）全　焼　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の７０パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

（2）半　焼　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の２０パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。

（3）部分焼　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の２０パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。

（4）ぼ　や　建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の１０パーセント未満であり焼損床面積が１平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の１０パーセント未満であり焼損表面積が１平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

6　り災世帯数

一般世帯又は施設等の世帯については、国勢調査の例に準じてり災世帯数を算出する。

7　り災人員

（1）一般世帯がり災した場合には、当該世帯の全ての人員をり災人員とする。

（2）施設等の世帯がり災した場合には、被害を受けた「へや」に居住する人員又は実際に火災損害を受けた人員のみをり災人員とする。

8　火災による死者及び負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者（病死者を除く。）又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

9　損害額

火災損害とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、り災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

火災損害は、焼き損害、消火損害又は爆発損害に区分する。

（1）「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいう。

（2）「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいう。

（3）「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって受けた前記（1）（2）以外の損害をいう。

1　火災件数　　21年中

種別／年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成19年	74	39	0	12	23
平成20年	60	32	4	7	17
平成21年	58	30	0	10	18
20年との増減	△ 2	△ 2	△ 4	3	1

2　火災損害額　　21年中

種別／年別	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
平成19年	43,001	41,016	0	1,800	185
平成20年	87,533	84,582	0	2,338	613
平成21年	197,225	185,410	0	10,874	941
20年との増減	109,692	100,828	0	8,536	328

（単位：千円）

3　出火原因別件数　　21年中

出火原因／年別	1位	2位	3位
平成19年	放火（放火の疑含）20	こんろ　8	たばこの不始末　7
平成20年	放火（放火の疑含）12	たばこの不始末　8	可燃性ガス　4
平成21年	放火（放火の疑含）18	こんろ　6	可燃性ガス　4

4　死傷者数　　21年中

死傷者／年別	死者	負傷者
平成19年	3	8
平成20年	1	6
平成21年	2	13
20年との増減	1	7

管区別火災発生状況

平成21年中

	合計	本署管内	小和田管内	小出管内	鶴嶺管内	松林管内	海岸管内
火災件数	58	11	9	6	7	12	13
比　率(%)	100	19.0	15.5	10.3	12.1	20.7	22.4

本署管内　11件　（比率:19.0%）

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	11	7		4
茅ヶ崎				
茅ヶ崎一丁目	1	1		
茅ヶ崎二丁目				
茅ヶ崎三丁目				
元町				
本村一丁目				
本村二丁目				
本村三丁目				
本村四丁目				
本村五丁目				
十間坂一丁目	1	1		
十間坂二丁目				
十間坂三丁目				
新栄町	3	1		2
南湖一丁目				
矢畑	3	2		1
円蔵				
円蔵一丁目				
円蔵二丁目				
西久保				
浜之郷	1	1		
下町屋一丁目				
下町屋二丁目				
下町屋三丁目				
香川				
香川一丁目	1			1
香川二丁目				
香川三丁目				
香川四丁目				
香川五丁目				
香川六丁目				
香川七丁目	1	1		
高田五丁目				
室田三丁目				
みずき四丁目				

小和田管内　9件　（比率:15.5%）

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	9	6	2	1
若松町	1	1		
東海岸北四丁目				
東海岸北五丁目				
東海岸南五丁目				
東海岸南六丁目	2	1	1	
ひばりが丘				
旭が丘				
松が丘一丁目	2	2		
松が丘二丁目				
白浜町				
平和町	2	1	1	
浜須賀				
浜竹一丁目	1	1		
浜竹二丁目				
浜竹三丁目				
浜竹四丁目				
松浪一丁目				
松浪二丁目				
富士見町				
常盤町				
緑が浜				
汐見台	1			1
菱沼海岸				
出口町				
美住町				

小出管　6件　（比率: 10.3%）　21年中

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	6	2	1	3
下寺尾				
堤	3		1	2
行谷				
芹沢	3	2		1
みずき一丁目				
みずき二丁目				
みずき三丁目				

鶴嶺管内　7件　（比率: 12.1%）

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	7	5		2
萩園	4	3		1
平太夫新田				
今宿	2	1		1
中島	1	1		

松林管内　12件　（比率:20.7%）

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	12	4	4	4
赤羽根	4	2	1	1
甘沼	1			1
高田一丁目				
高田二丁目				
高田三丁目				
高田四丁目				
鶴が台				
松風台				
菱沼一丁目				
菱沼二丁目	1			1
菱沼三丁目				
松林一丁目	2		2	
松林二丁目				
松林三丁目				
室田一丁目				
室田二丁目	1		1	
室田三丁目				
小和田一丁目	1	1		
小和田二丁目				
小和田三丁目				
小桜町	1			1
代官町				
本宿町	1	1		
赤松町				
円蔵				

海岸管内　13件　（比率: 22.4%）

町名	合計	建物火災	車両火災	その他火災
合計	13	6	3	4
幸町	1	1		
東海岸北一丁目				
東海岸北二丁目				
東海岸北三丁目				
東海岸南一丁目				
東海岸南二丁目	1	1		
東海岸南三丁目				
東海岸南四丁目	1		1	
共恵一丁目	2	1	1	
共恵二丁目				
中海岸一丁目				
中海岸二丁目				
中海岸三丁目	1			1
中海岸四丁目	3	1	1	1
南湖二丁目	1	1		
南湖三丁目	1	1		
南湖四丁目	1			1
南湖五丁目				
南湖六丁目				
南湖七丁目				
松尾				
浜見平				
柳島	1			1
柳島一丁目				
柳島二丁目				
柳島海岸				

平成21年火災件数月別内訳　　21年中

火災種別 / 月別	件数	建物	車両	その他	死傷者
合計	58	30	10	18	死者 2 負傷者 13
1月	7	4	1	2	死者1 負傷者1
2月	7	4		3	負傷者7
3月	3	1		2	死者1
4月	6	4		2	負傷者1
5月	2			2	負傷者1
6月	6	5	1		
7月	6	1	4	1	
8月	6	5	1		負傷者1
9月	6	2	2	2	負傷者1
10月	2	2			
11月	2	1	1		
12月	5	1		4	負傷者1

初　期　消　火　器　具　使　用　状　況　　21年中

	合計		建物火災		車両火災		その他の火災	
		有効		有効		有効		有効
出火件数	58	26	30	12	10	5	18	9
初期消火無	18		9		3		6	
消火器	9	6	1	1	3	1	5	4
水バケツ	1						1	
水道水等水をかけた	22	15	12	6	4	4	6	5
寝具衣類等をかけた	8	5	8	5				
砂・土等をかけた								
その他								

火災統計概要（最近１０年間）

区分＼年度			合計	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
火災件数	合計		660	46	75	72	53	76	82	64	74	60	58
	建物火災		355	27	34	42	31	40	44	36	39	32	30
	林野火災		7						3			4	
	車両火災		95	9	13	10	5	8	11	10	12	7	10
	船舶火災												
	その他の火災		203	10	28	20	17	28	24	18	23	17	18
爆発災害件数			4					4					
焼損棟数	合計		477	32	47	49	44	66	58	43	39	45	54
	火元棟	全焼	60	6	4	3	7	11	11	4	1	5	8
		半焼	23	1	1	2	2	4	3	3	1	5	1
		部分焼	91	8	11	11	4	8	11	13	9	9	7
		ぼや	181	12	18	26	18	18	19	16	28	13	13
	延焼棟	全焼	21		7	1	4	3	1			2	3
		半焼	9					6	2			1	
		部分焼	52	2	2	2	9	10	5	4		2	16
		ぼや	40	3	4	4		6	6	3		8	6
り災	世帯数		389	32	37	36	34	56	47	26	32	36	53
	人員		1,000	81	99	100	78	126	108	74	86	102	146
焼損面積㎡	建物火災		9,244	392	779	691	762	2,394	1,078	671	339	793	1345
	林野火災		508						276			232	
	雑草火災		4,053		1	62	1100	18	228	680	495	257	1212
死者			27	2	1	2	3	6	4	3	3	1	2
負傷者			115	15	10	14	14	17	15	3	8	6	13
損害額（百万円）			1,262	101	119	130	79	291	138	77	43	87	197

平成21年119番通報受付記録

		NTT一般電話	IP電話	携帯電話	携帯電話転送受け	加入	合計
災害通報	火　災	63	35	41	3	10	152
	救　急	3,910	2,473	2,125	176	176	8,860
	救　助	15	10	23	1	12	61
	水　難	0	0	2	2	4	8
	警　戒	14	11	10	1	13	49
	その他	74	41	125	0	0	240
非災害通報	間違い	334	126	229	0	0	689
	いたずら	78	26	46	0	0	150
	問合せ	445	335	411	0	0	1,191
	訓　練	138	13	12	0	0	163
	試　験	128	19	54	0	0	201
合　計		5,199	3,089	3,078	183	215	11,764

MEMO

救急救助統計

救　助　工　作　車

MEMO

救　急

「救急活動」

平成２１年中の救急出動件数は、８，７９３件で前年に比べ１８件の減、搬送人員は８，４０５人で前年に比べ７３人の減となり、１日当たりの出動件数は２４件で、これは約６０分に１回の割合で救急車が出動したことになります。

搬送人員を事故種別ごとに見てみると、急病が５，７７４人で全体の６５．７％になり、次いで一般負傷が１，２５６人で全体の１４．３％、交通事故が９３７人で全体の１０．７％の順となっています。

「用語の意義」

火　　災　　火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害　　暴風雨、豪雨等の自然現象による災害の事故をいう。
水難事故　　水泳中の溺者、又は水中転落者等の事故をいう。
交通事故　　交通機関相互の衝突等の事故をいう。
労働災害　　工場等において、就業中に発生した事故をいう。
運動競技　　運動競技を実施している人が、競技実施中に発生した事故をいう。
一般負傷　　他に分類されない不慮の事故をいう。
加　　害　　故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為　　故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急　　病　　疾病によるもので救急業務として取り扱ったもの。
そ の 他　　転院搬送、医師搬送、医療資器材等の輸送、その他のもの。
（正常分娩、酩酊等）

過去5年間の救急出動状況

区分／年別	出動件数	出動件数1日平均	搬送人員	搬送人員1日平均	不搬送	市内収容件数 A	市外収容件数 B	市外収容率（%） B／A
平成17年	9,102	25	8,741	24	461	8,185	456	5.57%
平成18年	8,905	24	8,547	23	444	7,956	505	6.35%
平成19年	9,085	25	8,698	24	459	8,181	445	5.44%
平成20年	8,811	24	8,478	23	393	7,951	467	5.87%
平成21年	8,793	24	8,405	23	468	7,815	510	6.53%

事故種別・年齢別搬送人員

平成21年中

事故種別＼年齢	合計	新生児 生後28日以内	乳幼児 29日～6才	少年 7才～17才	成人 18才～64才	65才以上
合計	8,405	31	496	439	3,113	4,326
火災	12		1	2	8	1
自然災害	1				1	
水難	3			1	2	
交通事故	950		43	127	619	161
労働災害	33			2	26	5
運動競技	81			45	34	2
一般負傷	1231		139	85	284	723
加害	51			5	40	6
自損行為	118			1	104	13
急病	5521	3	283	155	1,834	3,246
その他	404	28	30	16	161	169

傷病程度別・事故種別搬送人員

平成21年中

程度＼種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	8,405	12	1	3	950	33	81	1,231	51	118	5,521	404
死亡	121	0	0	1	0	0	0	6	0	16	98	0
重症	338	2	0	0	17	0	0	19	1	14	197	88
中等症	3,729	5	1	2	201	17	39	439	12	49	2,692	272
軽症	4,214	5	0	0	731	16	42	767	38	39	2,533	43
その他	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1

事故種別・発生場所別搬送人員

平成21年中

事故種別＼発生場所	合計	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他
合計	8,405	5,402	1,477	113	1,334	79
急病	5,521	4,501	718	74	204	24
交通	950	11	22	0	912	5
一般負傷	1,231	747	244	8	193	39
その他	703	143	493	31	25	11

月別出動状況

平成21年中

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	8,793	804	616	690	675	649	658	762	816	766	751	784	822
搬送人員	8,405	760	590	656	639	624	633	719	785	727	726	751	795

救急隊員の行った応急処置件数

応急処置	応急処置件数
合計	24,377
気道確保(うち救急救命処置)	357(68)
静脈路確保	111
薬剤投与	52
除細動	17
止血	109
固定	1,080
人工呼吸	35
心マッサージ	2
心肺蘇生	161
血圧測定	7,828
被覆	637
在宅療養継続	110
ショックパンツ	0
酸素吸入	1,922
保温	877
その他の応急処置	297
聴診器の使用	622
血中酸素飽和度測定	8,113
心電図	2,047
応急処置対象人員	8,312

曜日別救急出動件数

区分		曜日別件数
合計		8,793
曜日別	日	1,273
	月	1,339
	火	1,230
	水	1,191
	木	1,181
	金	1,266
	土	1,313

市内・市外病(医)院搬送状況(人員)

平成21年中

病(医)院＼事故種別	合計	収容率	救急事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
													転院	その他
合計	8,405	100.0%	12	1	3	950	33	81	1,231	51	118	5,521	392	12
茅ヶ崎市立病院	3,065	36.5%	1	1		325	9	41	363	16	32	2,177	98	2
茅ヶ崎徳洲会総合病院	4,063	48.3%	10		3	454	16	30	720	31	73	2,652	66	8
茅ヶ崎中央病院	4	0.0%										4		
湘南東部総合病院	741	8.8%				164	7	5	111	4	10	427	11	2
茅ヶ崎休日診療所														
市内その他の病院	22	0.3%	1			4			9		1	6	1	
市外の病院	510	6.1%				3	1	5	28		2	255	216	

事故種別不搬送理由

H21年中

事故種別＼不搬送理由	合計	搬送拒否（辞退）	到着時死亡（医師診断含）	酩酊	傷病者なし	現場処置	誤報・いたずら	その他
合計	468	117	47	24	78	147	24	31
急病	256	66	33	19	15	99	12	12
交通	49	20	2	3	5	9	0	10
一般負傷	34	13	0	0	2	18	0	1
その他	129	18	12	2	56	21	12	8

出場件数 8,793件　　不搬送件数 468件　　不搬送率　468 ／ 8,793 × 100 = 5.32%

救急支援出動状況（消防隊が救急隊を支援するための出動）

平成21年中

出動種別	救急隊活動支援	心肺停止による活動支援	ドクターヘリ支援	合　　計
出動件数	285	322(26)	6	613

（　）内は消防隊がAEDを使用した件数

救助出動

平成21年中

区分＼事故種別	合計	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	その他の事故
出動件数	68	17	10	1	1	27	4	8
救出人員	36	7	6	2	4	13	2	2

※管外の応援出動は含みません。

水難事故出動状況（過去5年間）

区分＼年別	合計	17年	18年	19年	20年	21年
管内出動	43	12	8	6	5	12
管外出動	25	5	6	8	5	1
救出人員	21	5	4	6	3	3

救命講習会

普通救命講習会実施状況

年度別 ＼ 回数・受講人数	回数	受講人数
平成6年度～平成14年度	225	5,305
平成15年度	41	767
平成16年度	40	786
平成17年度	86	1,742
平成18年度	89	1,836
平成19年度	124	2,549
平成20年度	108	2,396
平成21年度	101	2,040
合計	814	17,421

上級救命講習会・応急手当普及員養成講習会実施状況

年度別 ＼ 種別	上級救命講習会		応急手当普及員講習会	
	回数	受講人数	回数	受講人数
平成16年度	1	18	1	22
平成17年度	3	56	2	36
平成18年度	3	55	2	44
平成19年度	3	60	3	23
平成20年度	3	45	3	35
平成21年度	4	83	4	53

※　上級救命講習会及び応急手当普及員講習会は平成16年度から実施しています。

AED（自動体外式除細動器）設置状況

年度別 ＼ 施設	公共施設	民間施設
平成16年度	0	2
平成17年度	6	10
平成18年度	19	14
平成19年度	56	20
平成20年度	10	32
平成21年度	0	4
合計	91（4）	82（4）

（　）内はAEDが使用された回数

《市内公共施設》　AED設置施設一覧　（地区別）

平成22年3月31日現在　全91施設

	茅ヶ崎地区	所在地
1	茅ヶ崎市役所本庁舎2階	茅ヶ崎1-1-1
2	茅ヶ崎市役所本庁舎5階	茅ヶ崎1-1-1
3	茅ヶ崎市役所分庁舎6階	茅ヶ崎1-1-1
4	市立梅田小学校	茅ヶ崎1-6-1
5	茅ヶ崎市総合体育館	茅ヶ崎1-9-63
6	茅ヶ崎市民文化会館	茅ヶ崎1-11-1
7	茅ヶ崎市民活動サポートセンター	茅ヶ崎3-2-7
8	茅ヶ崎駅前市民窓口センター	元町1-1
9	茅ヶ崎地区コミュニティセンター	元町10-33
10	女性センター	新栄町12-12
11	勤労市民会館	新栄町13-32
12	老人福祉センター	新栄町13-44
13	新栄町第二自転車駐車場	新栄町13-45
14	幸町自転車駐車場	幸町21-7
15	茅ヶ崎警察署	十間坂1-3-25
16	生きがい会館・シルバー人材センター	十間坂1-4-8
17	青少年会館	十間坂3-5-37
18	茅ヶ崎市体育館	十間坂3-6-5
19	市立梅田中学校	十間坂3-6-25
20	市立茅ヶ崎小学校	共恵1-10-23
21	南湖会館	南湖4-6-1
22	市立西浜小学校	南湖6-5-8
23	南湖公民館	南湖6-15-1
24	市立西浜中学校	南湖6-15-3
25	茅ヶ崎漁業協同組合	南湖6-12988
26	文化資料館	中海岸2-2-18
27	茅ヶ崎市福祉会館	中海岸2-2-42
28	海岸青少年会館	中海岸3-3-10
29	茅ヶ崎公園野球場	中海岸3-3-11
30	茅ヶ崎市美術館	東海岸北1-4-45
31	茅ヶ崎市立図書館	東海岸北1-4-55
32	海岸地区コミュニティセンター	東海岸北5-16-20
33	市立東海岸小学校	東海岸南4-10-1
34	市立第一中学校	東海岸南4-10-1

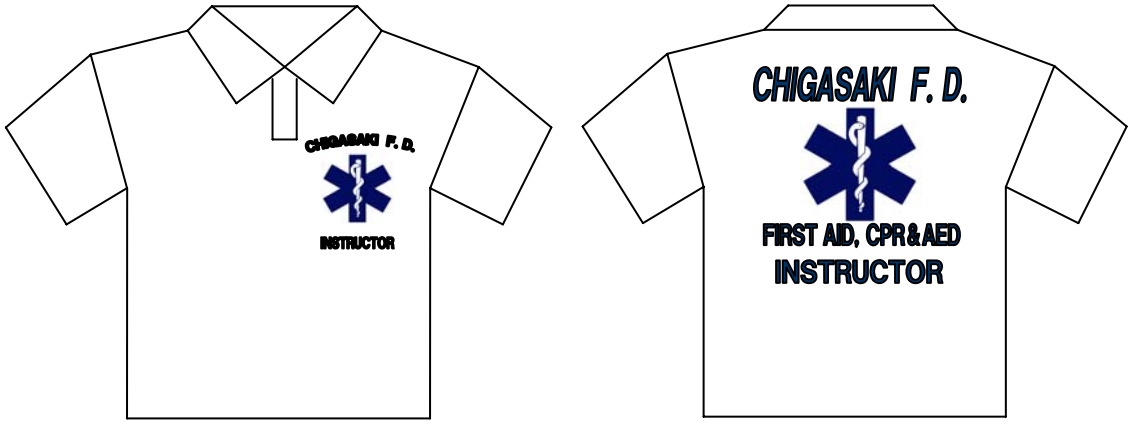
	小出地区	所在地
1	芹沢スポーツ公園	芹沢430-3
2	茅ヶ崎市役所小出支所	芹沢888
3	市立小出小学校	芹沢944
4	茅ヶ崎市斎場	芹沢1700
5	堤スポーツ広場	堤1316
6	老人憩の家　皆楽荘	堤1928-1
7	小出地区コミュニティセンター	堤1948-1
8	市立北陽中学校	下寺尾1660

	松林地区	所在地
1	香川公民館	香川1-11-1
2	市立香川小学校	香川1-33-1
3	香川保育園	香川4-46-1
4	市立赤羽根中学校	赤羽根3030
5	農業ふれあい広場	赤羽根1948
6	市立室田小学校	室田1-1-1
7	松林公民館	室田1-3-2
8	室田保育園	室田1-3-13
9	市立松林中学校	室田3-1-1
10	小和田地区コミュニティセンター	小和田1-22-60
11	市立小和田小学校	小和田3-10-1
12	市立松林小学校	菱沼1-1-1
13	松林ケアセンター	松林3-9-28
14	本宿町自転車駐車場	本宿町11-59
15	小和田市民窓口センター	浜竹3-4-64
16	つつじ学園	松が丘2-8-51
17	市立浜須賀中学校	松が丘2-8-54
18	浜須賀保育園	松が丘2-8-60
19	浜須賀会館	松が丘2-8-63
20	小和田公民館	美住町6-20
21	市立松浪小学校	松浪1-1-61
22	小和田保育園	松浪1-8-4
23	市立松浪中学校	松浪2-6-47
24	市立浜須賀小学校	白浜町3-1
25	市立緑が浜小学校	緑が浜1-1

	鶴嶺地区	所在地
1	茅ヶ崎市屋内温水プール	萩園820
2	環境事業センター（清掃事業所）	萩園836
3	環境事業センター（収集事業所）	萩園1085
4	老人憩の家　萩園いこいの里	萩園1215-4
5	鶴嶺公民館	萩園2028-55
6	市立萩園中学校	萩園2425
7	鶴嶺東コミュニティセンター	西久保180
8	市立円蔵中学校	円蔵1-15-1
9	市立円蔵小学校	円蔵1-13-1
10	市立鶴が台中学校	鶴が台2-7
11	鶴が台保育園	鶴が台10-8
12	市立鶴が台小学校	鶴が台12-1
13	茅ヶ崎市消防本部	矢畑1280-3
14	市立浜之郷小学校	浜之郷90
15	市立鶴嶺小学校	浜之郷477
16	市立鶴嶺中学校	浜之郷500
17	市立今宿小学校	今宿192
18	こどもセンター	今宿444-2
19	市立中島中学校	中島1469-2
20	相模川河畔スポーツ公園	中島1475-2
21	コミュニティセンター湘南	中島1670
22	市立柳島小学校	柳島1594
23	柳島記念館	柳島1900
24	浜見平保育園	浜見平12-1

※その他、消防車両9台に積載しています。

☆ 茅ヶ崎市応急手当普及協会 ☆



平成１８年１月１９日茅ヶ崎市応急手当普及協会が発足しました。
会員は独自のユニホームを着用し、講習会で指導を行っています。

【発足までの経過】

茅ヶ崎市では平成１６年度から応急手当普及員養成講習会を開催して来ました。そして平成１６年７月から、一般市民にもＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用が認められ、救命講習会の受講希望者増加が予想されました。こうした中、普及員資格者同士の情報交換や、講習会などで積極的に活躍ができる環境を整備するため、茅ヶ崎市応急手当普及協会（事務局は消防本部救命課に置く）を発足いたしました。

【会員】

会員は市内の事業所や市民などで構成され、平成２２年４月１日現在で１４４人となりました。（男性９３人、女性５１人）

【会長】

初代会長　　藤　野　継　基　氏　（元アレセイア湘南中学高等学校）平成１８年１月
２代会長　　菊　澤　　豊　　氏　（株式会社　アルバック）　　平成２０年５月【現職】

【平成２１年度の活動内容】

・上級救命講習会に指導者として参加協力（講習４回、延べ１３人参加）
・普通救命講習会に指導者として参加協力（講習１０１回、延べ３８７人参加）
・応急手当講習会に指導者として参加協力（講習２８回、延べ９３人参加）
・救急の日（９月６日（日））のイベントに参加協力（２７人参加）
・会員の知識、技術向上のため研修会を１５回開催（延べ１８１人参加）

茅ヶ崎市応急手当普及協会の活動

《消防フェスティバル》

体験コーナーを設置し、心肺蘇生をレクチャー！

《応急手当普及員講習》

先輩指導員の指導を受け、新しい普及員が誕生します。

会　　長

2代会長　菊澤　豊　氏

（株式会社アルバック）

MEMO

MEMO

MEMO

茅ヶ崎市消防本部	代表番号　0467-85-4591	
消防総務課 fire_soumu@city.chigasaki.kanagawa.jp	総　務　担　当	0467-85-9940
	企　画　担　当	0467-85-9941
予　防　課 fire_yobou@city.chigasaki.kanagawa.jp	予　防　担　当	0467-85-9943
	危 険 物 担 当	0467-85-9944
警　防　課 fire_keibou@city.chigasaki.kanagawa.jp	警　防　担　当	0467-85-9945
	整　備　担　当	0467-85-9946
	指令第一担当 指令第二担当	0467-85-4591
救　命　課 fire_kyuumei@city.chigasaki.kanagawa.jp	救急救助担当	0467-85-9949
FAX	0467-53-1224 0467-85-1112（通信指令室）	
茅ヶ崎市消防署	代表番号　0467-85-4591	
指　導　課 fire_shidou@city.chigasaki.kanagawa.jp	管　理　担　当	0467-85-4594
	指　導　担　当	0467-85-4595
	FAX	0467-85-4595
警備第一課 警備第二課	本　　署	0467-85-4593
	小和田出張所	0467-82-8300
	小 出 出 張 所	0467-53-3004
	鶴 嶺 出 張 所	0467-85-8811
	松 林 出 張 所	0467-52-1230
	海 岸 出 張 所	0467-83-3311

災害情報案内 （テレドーム）	0180-99-4591	救急情報案内	0467-85-0119
ホームページアドレス	http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/shoubou119/		

平成２２年版（平成２１年度）消防年報

２０１０年７月 発行（３００部作成）

編集発行　茅ヶ崎市消防本部

〒253-0085　神奈川県茅ヶ崎市矢畑 1280 番地 3

ＴＥＬ　０４６７－８５－９９４０（ダイヤルイン）

ＦＡＸ　０４６７－５３－１２２４

ホームページ：http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/shoubou119/index.html